

**平成27年度
羽村市市政世論調査
報告書**

平成28年1月
羽村市

はじめに

羽村市では、第五次羽村市長期総合計画（平成 24 年度から 33 年度の 10 年計画）に掲げた羽村市の将来像「ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら」の実現のため、さまざまな行政運営を行っております。

現在、平成 28 年度までの前期 5 年計画の第 4 年次を迎えており、今後、平成 29 年度から 33 年度までの後期 5 年計画を策定する予定ですが、それに先立ち、市民の皆様が市政について感じておられるご意見や多様なニーズを把握するため、このたび市政世論調査を実施いたしました。

この調査では、はむらの住みよさやイメージ、市の施策に対する満足度や重要度をはじめ、市民活動、男女共同参画、環境、高齢者福祉などの各種個別施策についてお伺いしております。

これにより得られました貴重なご意見は、後期 5 年計画の中に反映させ今後のまちづくりに役立ててまいりたいと存じます。

調査にご協力いただきました市民の皆様には、深く感謝申し上げますとともに、今後とも市政運営に対し、ご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

平成 28 年 1 月

羽村市長 並木 心

目次

I. 調査概要	1
II. 調査結果の詳細	11
1. 定住性と住みよさ	13
(1) 住みよさ	13
(2) 住みよい理由	15
(3) 住みにくい理由	16
(4) 定住意向	17
2. 市の施策に対する満足度・重要度	20
(1) 市の施策に対する満足度	20
(2) 市の施策に対する重要度	25
(3) 満足度と重要度からみたゾーニング分析	30
3. 羽村市の魅力・羽村らしさ	36
(1) 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事	36
(2) 希望する将来の市のまちづくり	39
4. 市政への関心度	42
(1) 市政への関心度	42
(2) 力を入れてほしい、新たに取り組んでもらいたい施策	44
(3) 市政への参加・協働意向	47
5. 市民活動	50
(1) 市民活動への参加状況	50
(2) 市民活動への不参加理由	52
(3) 町内会・自治会組織への不参加理由	53
6. 男女共同参画	55
(1) 各分野における男女平等感	55
(2) 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと	57
(3) 男女共同参画に関する用語の認知度	59
(4) 女性が職業を持ち続けるために必要なこと	61
(5) 配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度	63
(6) 男女間の暴力を防止するために必要なこと	64
7. 行政改革	67
8. 水道事業	69
(1) 市水道事業の水源の周知度	69
(2) 市水道水の印象	71
9. 環境	73
(1) 環境への取り組みとして重点をおくべきもの	73
(2) 「グリーン購入」制度の認知度	75
(3) 「グリーン購入」の製品の購入状況	76

1 0. 高齢者福祉	77
(1) 市に力をいれてほしい高齢者福祉施策	77
(2) 老後の暮らし方	79
1 1. 障害者福祉	81
1 2. 防災・防犯対策	83
(1) 防災対策で重点をおいて進めるべきもの	83
(2) 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの	85
1 3. 都市基盤	87
(1) 市の都市基盤整備に望むこと	87
(2) 市の道路整備で優先すべきもの	89
(3) まちの活性化のために必要な施策	91
1 4. 生涯学習	93
(1) 「学び」に関する活動の実施	93
(2) 「学び」を行う目的	94
(3) 「学び」の分野	95
(4) これからの「学び」に取り組むための目的	96
(5) 「学び」に取り組まなかった理由	97
(6) 月間の読書冊数	98
(7) 読書の目的	99
(8) 本の入手方法	100
(9) 年間のスポーツ・運動日数	101
(10) スポーツ・運動を行う理由	103
(11) この1年間に行ったスポーツ・運動の種目	104
Ⅲ. 調査票	105

I . 調查概要

1 調査の目的

この調査は、羽村市民の市政に対する意見・要望などを把握し、第五次羽村市長期総合計画の後期基本計画及び今後のまちづくりの参考とすることを目的とした。

2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 : 羽村市全域
- (2) 調査の対象者 : 羽村市在住の満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 : 住民基本台帳から層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 : 1,200 人
- (5) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間 : 平成 27 年 8 月 24 日(月)～9 月 7 日(月)

3. 調査項目

- (1) 定住性と住みよさ
- (2) 市の施策に対する満足度・重要度
- (3) 羽村市の魅力・羽村らしさ
- (4) 市政への関心度
- (5) 市民活動
- (6) 男女共同参画
- (7) 行政改革
- (8) 水道事業
- (9) 環境
- (10) 高齢者福祉
- (11) 障害者福祉
- (12) 防災・防犯対策
- (13) 都市基盤
- (14) 生涯学習

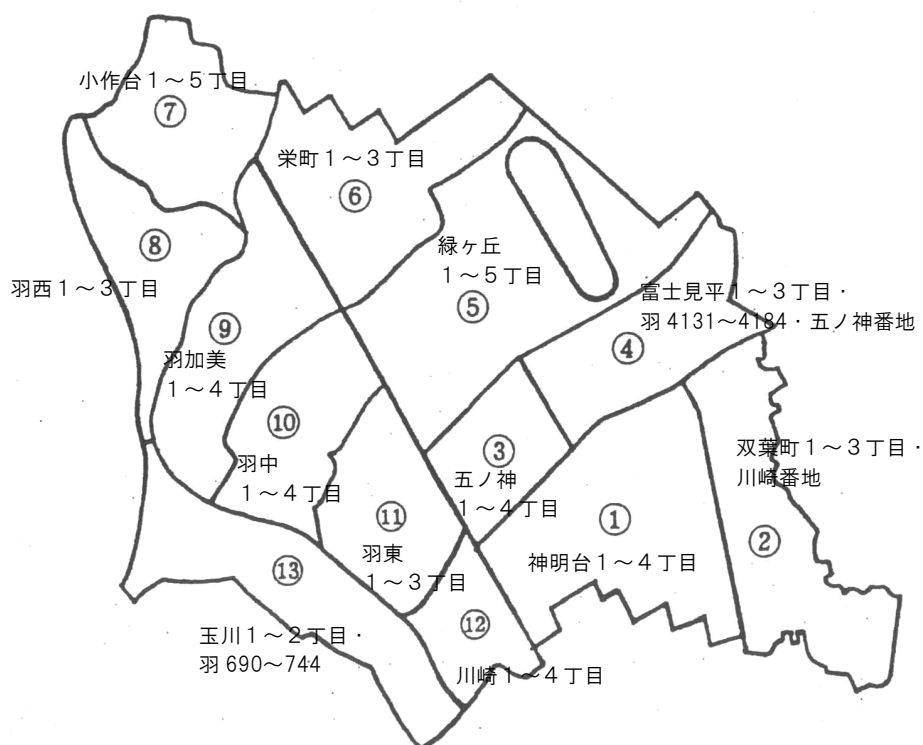
4 回収結果

- (1) 発送数 1,200 人
- (2) 有効回収数 518 人
- (3) 有効回収率 43.2%

5 地区・ブロック回収状況

地区・ブロック	対象（人）			回収数（人）				回収率（％）			
	計	男性	女性	計	男性	女性	無回答	計	男性	女性	無回答
① 神明台1～4丁目	193	95	98	78	40	37	1	40.4	42.1	37.8	0.5
② 双葉町1～3丁目・川崎番地	63	31	32	28	8	20	0	44.4	25.8	62.5	0.0
③ 五ノ神1～4丁目	80	39	41	36	19	17	0	45.0	48.7	41.5	0.0
④ 富士見平1～3丁目・ 羽 4131～4184・五ノ神番地	96	47	49	42	14	27	1	43.8	29.8	55.1	1.0
⑤ 緑ヶ丘1～5丁目	140	68	72	65	27	37	1	46.4	39.7	51.4	0.7
⑥ 栄町1～3丁目	115	57	58	43	19	24	0	37.4	33.3	41.4	0.0
⑦ 小作台1～5丁目	133	66	67	50	17	32	1	37.6	25.8	47.8	0.8
⑧ 羽西1～3丁目	58	28	30	27	12	15	0	46.6	42.9	50.0	0.0
⑨ 羽加美1～4丁目	88	44	44	36	14	22	0	40.9	31.8	50.0	0.0
⑩ 羽中1～4丁目	75	38	37	34	15	19	0	45.3	39.5	51.4	0.0
⑪ 羽東1～3丁目	81	40	41	38	16	22	0	46.9	40.0	53.7	0.0
⑫ 川崎1～4丁目	46	24	22	19	8	11	0	41.3	33.3	50.0	0.0
⑬ 玉川1～2丁目・ 羽 690～744	32	15	17	16	3	13	0	50.0	20.0	76.5	0.0
無回答				6	1	4	1	0.5	0.2	0.7	0.1
全体	1,200	592	608	518	213	300	5	43.2	36.0	49.3	0.4

※「計」および「全体」の数値には「ブロック」および「性別」の無回答を含むため、各項目を足上げた数値と一致しない場合がある



6 報告書をみるにあたって

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問では、その回答比率の合計は100%を超える。
- (3) 図における各質問の基数（回答数）を「n」、表中における基数（回答数）を「N」と表記する。
- (4) 表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答を除いているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は一致していない。
- (5) 図表中の記号の意味は、以下のとおり。

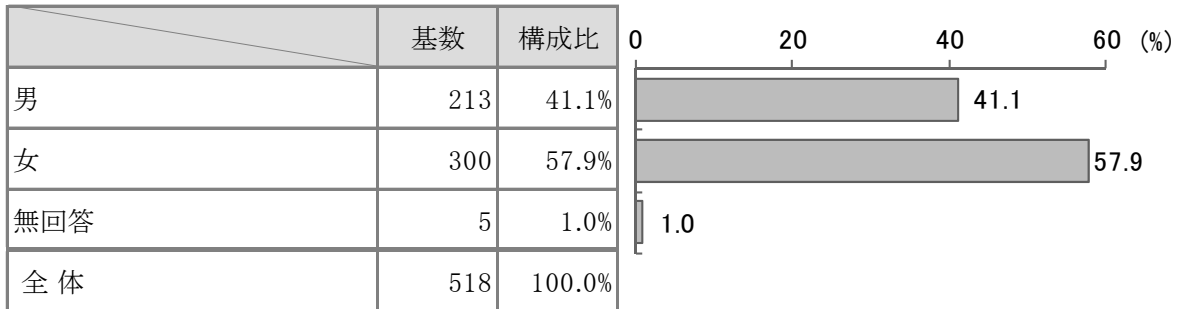
全体値より	☆：+20%以上高い	★：-20%以上低い
	○：+15～20%高い	●：-15～20%低い
	□：+10～15%高い	■：-10～15%低い

- (6) 回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向をみるにとどめ、本文中では触れていない。
- (7) その他の意見等については、同じ意味の記述のものは集計し、表現を一部なおしている場合がある。
- (8) 地区・ブロックは表記の都合上、本文中のコメントおよび図表において以下のように簡易的に表示している。

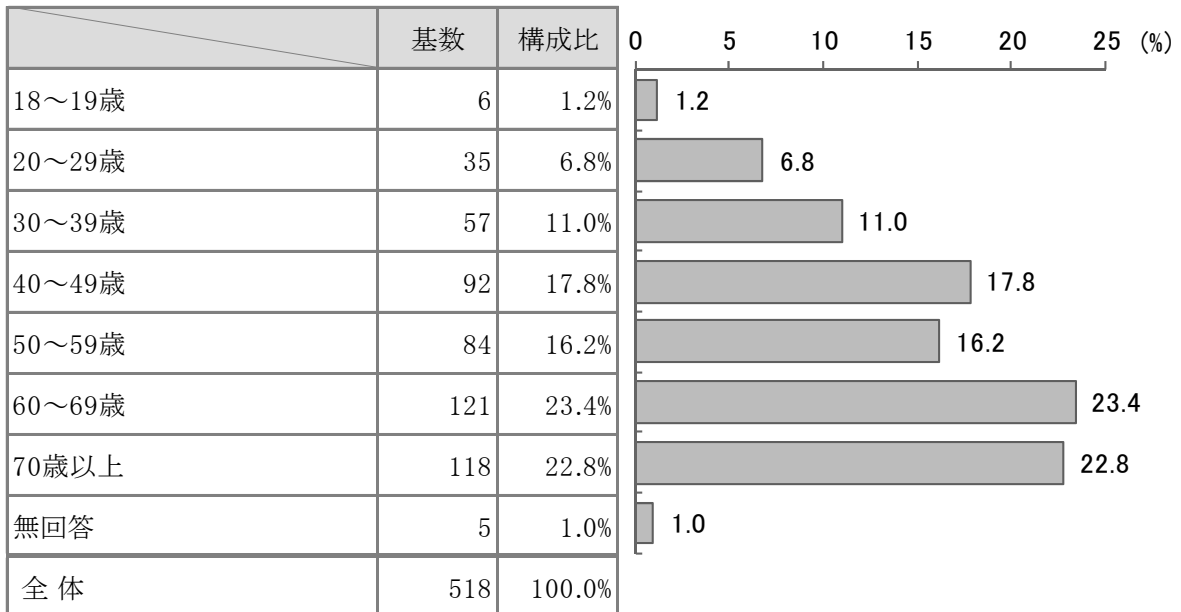
地区・ブロック名		図表・コメント内での表示名
神明台1～4丁目	→	神明台
双葉町1～3丁目・川崎番地	→	双葉町
五ノ神1～4丁目	→	五ノ神
富士見平1～3丁目・羽4131～4184・五ノ神番地	→	富士見平・羽4000番台
緑ヶ丘1～5丁目	→	緑ヶ丘
栄町1～3丁目	→	栄町
小作台1～5丁目	→	小作台
羽西1～3丁目	→	羽西
羽加美1～4丁目	→	羽加美
羽中1～4丁目	→	羽中
羽東1～3丁目	→	羽東
川崎1～4丁目	→	川崎
玉川1～2丁目・羽690～744	→	玉川・羽600～700番台

7 回答者の属性

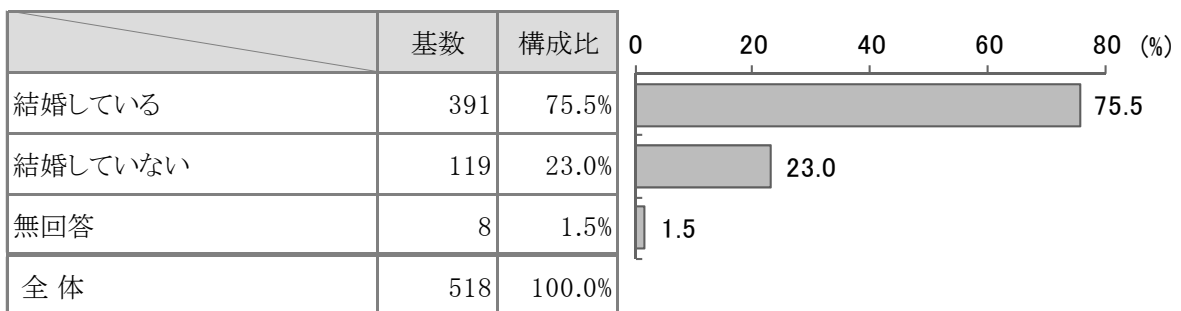
(1) 性別



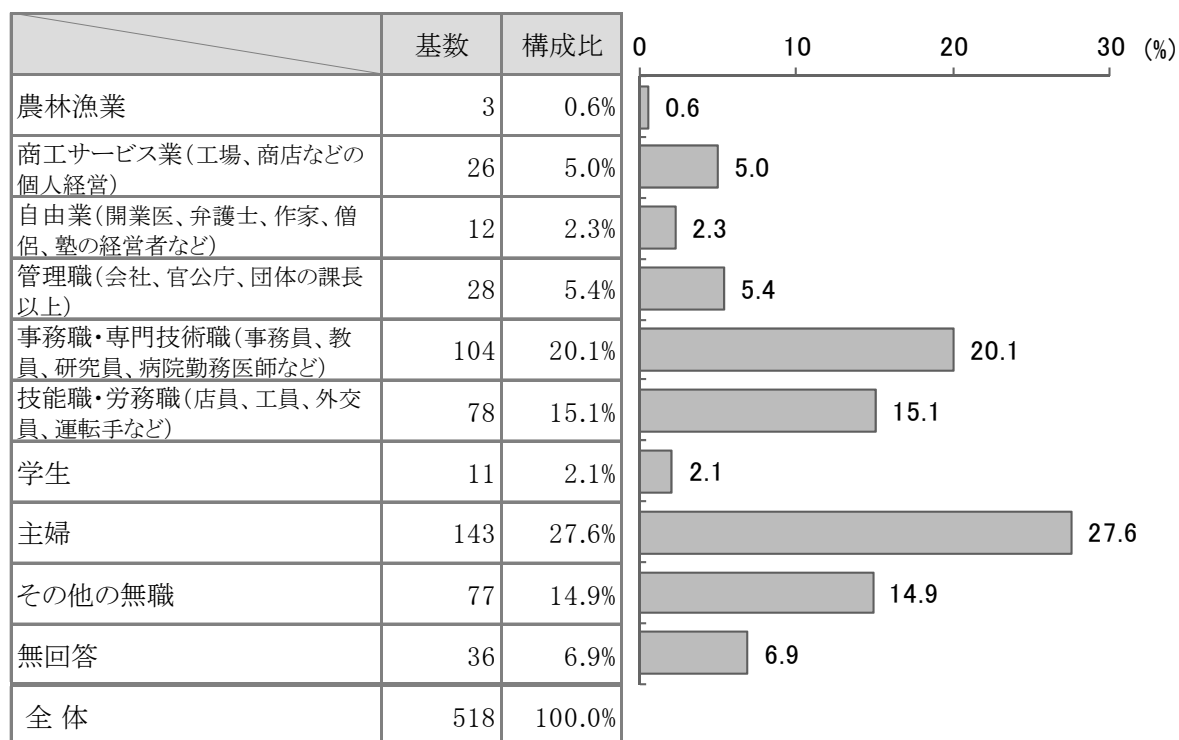
(2) 年齢



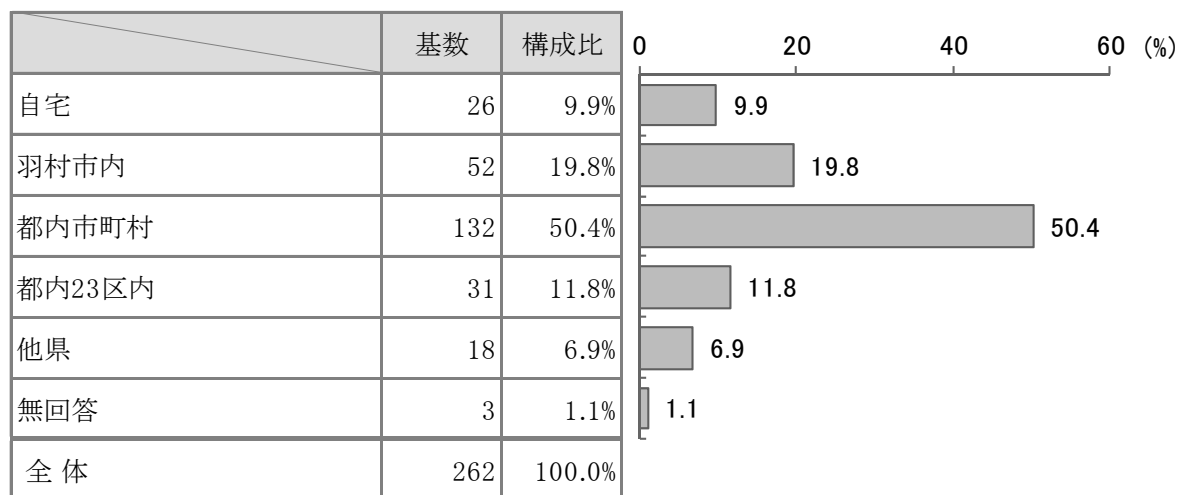
(3) 未既婚



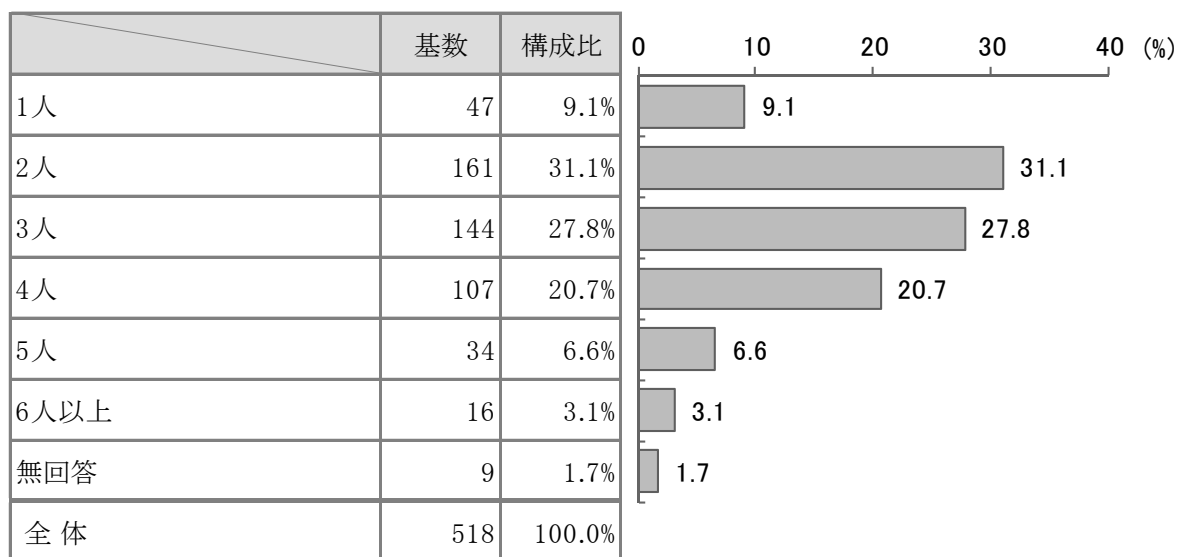
(4) 職業



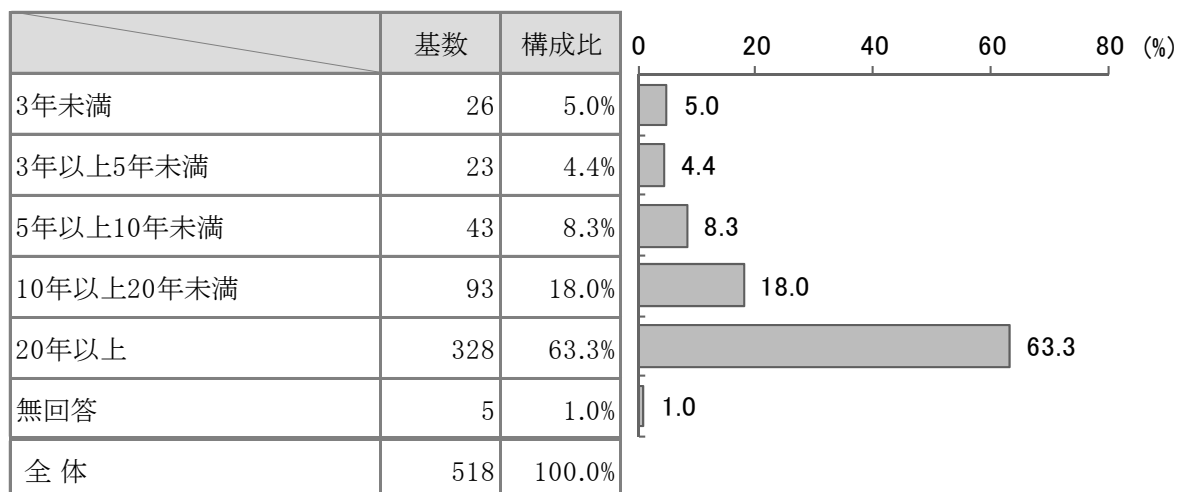
(5) 通勤・通学地



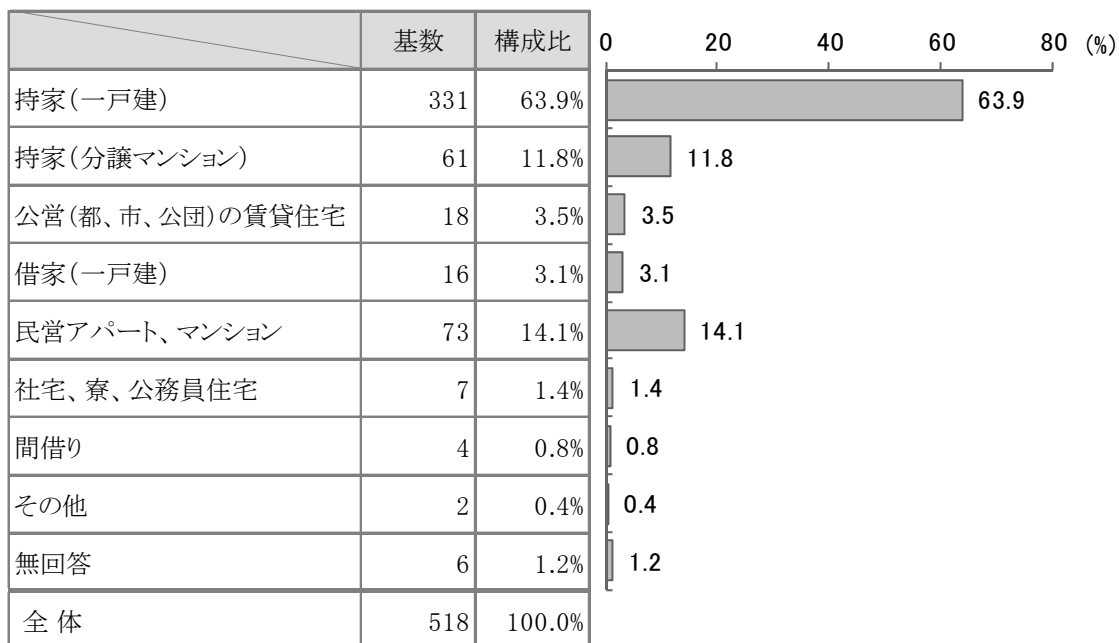
(6) 家族人数



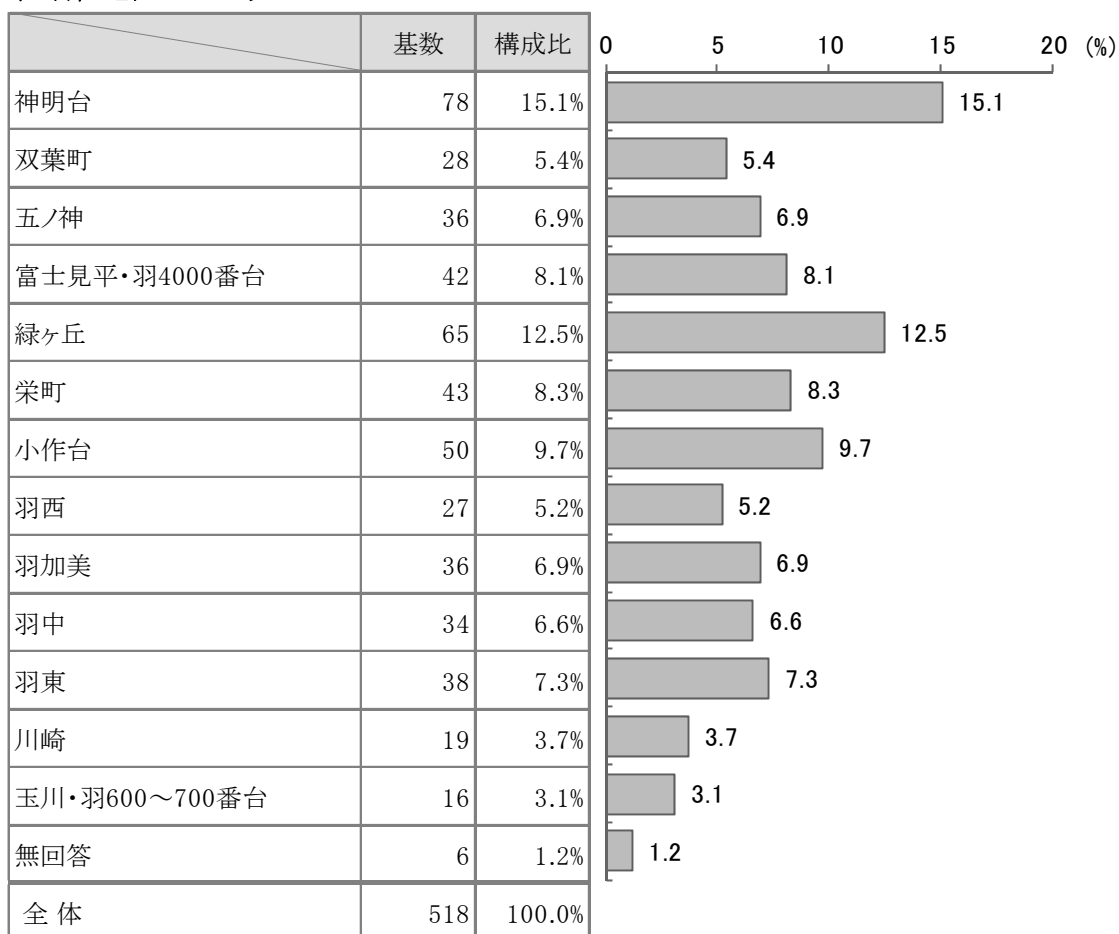
(7) 居住年数



(8) 住居形態



(9) 居住地区・ブロック



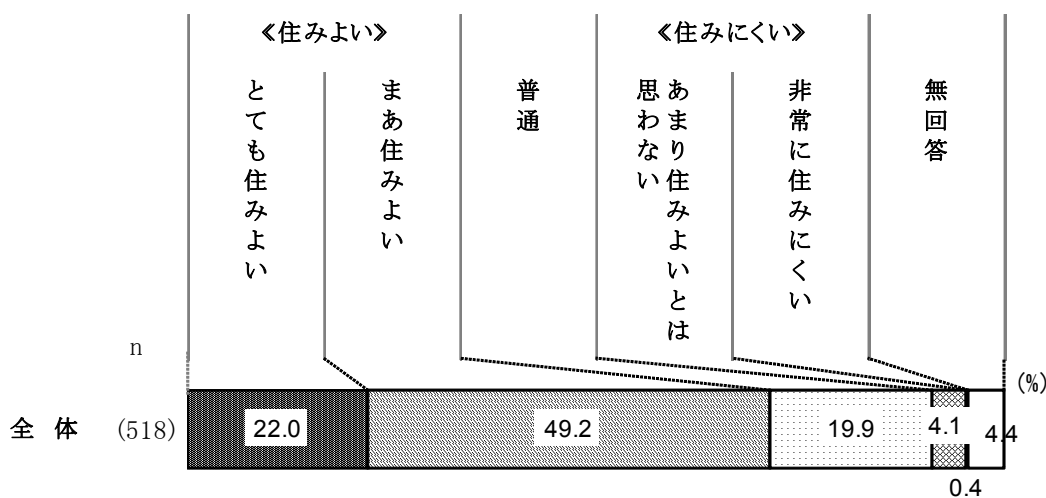
II. 調査結果の詳細

1. 定住性と住みよさ

(1) 住みよさ

問1 あなたは羽村市を住みよいところだと思いますか。(〇は1つ)

羽村市の住みよさは、「とても住みよい」が22.0%、「まあ住みよい」が49.2%で、これをあわせた《住みよい》は71.2%と多数を占めている。一方、「非常に住みにくい」(0.4%)と「あまり住みよいとは思わない」(4.1%)をあわせた《住みにくい》は4.5%とわずかである。



過去の調査と比較すると、《住みよい》は70%強、《住みにくい》は5%前後で推移しており、大きな変化はみられない。

	(%)					
	とても住みよい	まあ住みよい	普通	あまり住みよいとは思わない	非常に住みにくい	無回答
今回(H27)	22.0	49.2	19.9	4.1	0.4	4.4
前回(H22)	20.9	50.8	17.9	3.9	0.6	5.9
前々回(H17)	22.8	50.7	16.9	5.3	0.5	3.8

性・年代別にみると、女性20歳代の《住みよい》との回答は45.4%となっているが、それ以外の年代の男女とも《住みよい》との回答は60%台を超えている。

地区・ブロック別にみると、双葉町、羽東では《住みよい》との回答が50%台にとどまり、他の地区・ブロックに比べると評価が低くなっている。

居住年数別にみると、3年以上5年未満の人では《住みよい》との回答が50%台にとどまっている。

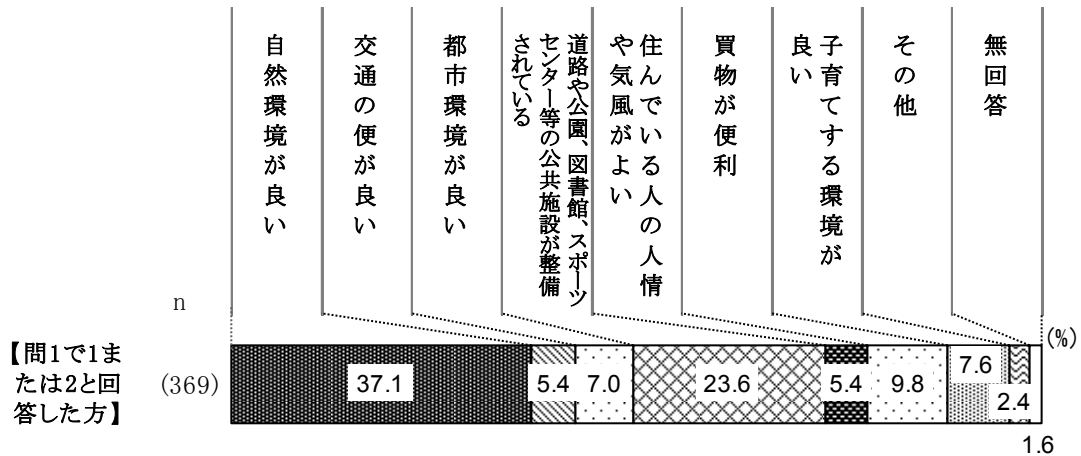
	N	とても住みよい	まあ住みよい	普通	あまり住みよいとは思わない	非常に住みにくい	無回答
							(%)
【全体】	518	22.0	49.2	19.9	4.1	0.4	4.4
【性別】							
男	213	22.1	51.6	16.9	3.8	0.0	5.6
女	300	21.7	47.7	22.3	4.3	0.7	3.3
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	□ 33.3	○ 66.7	● 0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	13	30.8	46.2	■ 7.7	7.7	0.0	7.7
男・30歳代	24	16.7	58.3	12.5	4.2	0.0	8.3
男・40歳代	40	22.5	42.5	22.5	7.5	0.0	5.0
男・50歳代	29	20.7	○ 65.5	■ 6.9	3.4	0.0	3.4
男・60歳代	51	25.5	47.1	17.6	3.9	0.0	5.9
男・70歳以上	53	18.9	52.8	22.6	0.0	0.0	5.7
女・20歳未満	3	□ 33.3	● 33.3	● 0.0	☆ 33.3	0.0	0.0
女・20歳代	22	13.6	● 31.8	○ 36.4	9.1	0.0	9.1
女・30歳代	33	18.2	51.5	18.2	6.1	3.0	3.0
女・40歳代	52	26.9	46.2	21.2	3.8	0.0	1.9
女・50歳代	55	21.8	43.6	27.3	5.5	0.0	1.8
女・60歳代	70	18.6	52.9	22.9	4.3	0.0	1.4
女・70歳以上	65	24.6	50.8	16.9	0.0	1.5	6.2
【地区・ブロック別】							
神明台	78	28.2	50.0	14.1	2.6	0.0	5.1
双葉町	28	21.4	● 32.1	28.6	10.7	0.0	7.1
五ノ神	36	30.6	47.2	19.4	0.0	0.0	2.8
富士見平・羽4000番台	42	19.0	42.9	28.6	2.4	2.4	4.8
緑ヶ丘	65	30.8	49.2	12.3	6.2	0.0	1.5
栄町	43	23.3	□ 62.8	● 2.3	2.3	0.0	9.3
小作台	50	26.0	46.0	22.0	4.0	0.0	2.0
羽西	27	● 3.7	☆ 70.4	14.8	0.0	0.0	11.1
羽加美	36	16.7	50.0	25.0	5.6	0.0	2.8
羽中	34	17.6	44.1	29.4	2.9	0.0	5.9
羽東	38	■ 10.5	44.7	28.9	7.9	2.6	5.3
川崎	19	15.8	52.6	26.3	5.3	0.0	0.0
玉川・羽600～700番台	16	12.5	□ 62.5	25.0	0.0	0.0	0.0
【居住年数別】							
3年未満	26	19.2	46.2	19.2	7.7	0.0	7.7
3年以上5年未満	23	13.0	43.5	21.7	□ 17.4	0.0	4.3
5年以上10年未満	43	25.6	48.8	14.0	7.0	0.0	4.7
10年以上20年未満	93	■ 10.8	49.5	□ 31.2	5.4	1.1	2.2
20年以上	328	25.3	50.3	17.1	2.1	0.3	4.9

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(2) 住みよい理由

【問1の「とても住みよい」、「まあ住みよい」の該当者】 問1-1 その主な理由は何ですか。(〇は1つ)

《住みよい》と回答した人の理由をみると、「自然環境が良い」が 37.1%で最も多く、ついで、「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている」が 23.6%でつづいており、この2つが住みよさの大きな要因になっている。

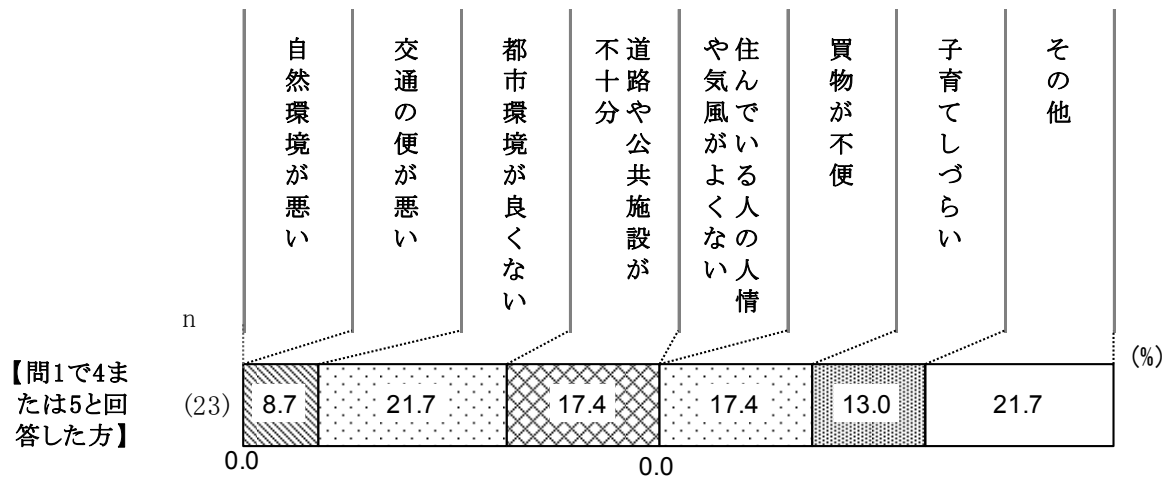


その他の回答内容	件数
環境が良い。静か	8
住み心地が良い	5
安心、安全。災害が少ない	3
周辺に公園や病院などが多い	3
羽村で生まれ育った	2
市の規模がちょうどいい	2
昔から住んでいるから	1
その他	4

(3) 住みにくい理由

【問1の「あまり住みよいとは思わない」、「非常に住みにくい」の該当者】問1-2 その主な理由は何ですか。(〇は1つ)

《住みにくい》と回答した人の理由としては、「都市環境が良くない」が21.7%で最も多く、ついで「道路や公共施設が不十分」(17.4%)と「買物が不便」(17.4%)がつづいている。

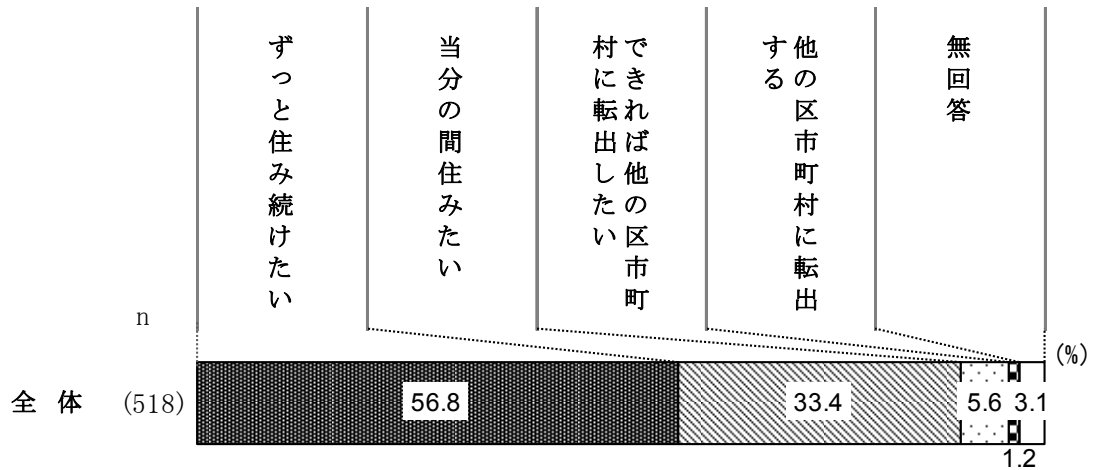


その他の回答内容	件数
交通や施設が不便	3
道路が狭い	2
騒音がひどい	2
近所付き合いが煩わしい	1
役所の対応の悪さ	1
羽村から出たい	1

(4) 定住意向

問2 あなたは今後も羽村市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に転居したいと思いますか。(〇は1つ)

今後の羽村市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」が 56.8%、「当分の間住みたい」が 33.4%で、これをあわせた《住みたい》は 90.2%と多数を占めている。《転出したい》(「できれば他の区市町村に転出したい」+「他の区市町村に転出する」)は 6.8%と少ない。



過去の調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」との回答は、わずかであるが増加傾向にある。

(%)

	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の区市町村に転出したい	他の区市町村に転出する	無回答
今回 (H27)	56.8	33.4	5.6	1.2	3.1
前回 (H22)	54.2	39.2	3.7	0.6	2.4
前々回 (H17)	51.0	36.8	7.0	1.8	3.4

性・年代別にみると、男女とも60歳以上で「ずっと住み続けたい」との回答が多くなっている。また、男性は20歳代、女性は30歳代以下で「当分の間住みたい」との回答が半数を超えている。

居住年数別にみると、10年未満の人では「当分の間住みたい」との回答が半数を超え多くくなっている。

	N	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の区市町村に転出したい	他の区市町村に転出する	無回答
						(%)
【全体】	518	56.8	33.4	5.6	1.2	3.1
【性別】						
男	213	59.2	32.9	3.8	0.9	3.3
女	300	55.0	33.7	7.0	1.3	3.0
【性・年代別】						
男・20歳未満	3	★ 33.3	33.3	☆ 33.3	0.0	0.0
男・20歳代	13	★ 23.1	☆ 69.2	7.7	0.0	0.0
男・30歳代	24	50.0	37.5	8.3	4.2	0.0
男・40歳代	40	52.5	35.0	2.5	0.0	10.0
男・50歳代	29	55.2	41.4	0.0	0.0	3.4
男・60歳代	51	62.7	31.4	2.0	0.0	3.9
男・70歳以上	53	☆ 77.4	● 17.0	3.8	1.9	0.0
女・20歳未満	3	★ 0.0	☆ 66.7	☆ 33.3	0.0	0.0
女・20歳代	22	★ 18.2	☆ 54.5	9.1	9.1	9.1
女・30歳代	33	★ 27.3	☆ 54.5	15.2	3.0	0.0
女・40歳代	52	● 40.4	□ 44.2	9.6	1.9	3.8
女・50歳代	55	56.4	36.4	5.5	0.0	1.8
女・60歳代	70	□ 71.4	■ 21.4	4.3	0.0	2.9
女・70歳以上	65	☆ 76.9	● 16.9	3.1	0.0	3.1
【地区・ブロック別】						
神明台	78	53.8	34.6	3.8	2.6	5.1
双葉町	28	64.3	32.1	3.6	0.0	0.0
五ノ神	36	63.9	27.8	5.6	0.0	2.8
富士見平・羽4000番台	42	57.1	28.6	7.1	0.0	7.1
緑ヶ丘	65	61.5	32.3	3.1	0.0	3.1
栄町	43	55.8	37.2	2.3	4.7	0.0
小作台	50	48.0	40.0	8.0	0.0	4.0
羽西	27	55.6	33.3	7.4	0.0	3.7
羽加美	36	61.1	27.8	11.1	0.0	0.0
羽中	34	□ 67.6	29.4	2.9	0.0	0.0
羽東	38	■ 42.1	36.8	7.9	5.3	7.9
川崎	19	57.9	36.8	5.3	0.0	0.0
玉川・羽600～700番台	16	50.0	□ 43.8	6.3	0.0	0.0
【居住年数別】						
3年未満	26	★ 23.1	☆ 53.8	7.7	7.7	7.7
3年以上5年未満	23	★ 26.1	☆ 60.9	8.7	0.0	4.3
5年以上10年未満	43	● 39.5	○ 51.2	4.7	2.3	2.3
10年以上20年未満	93	● 40.9	39.8	12.9	2.2	4.3
20年以上	328	□ 68.3	25.6	3.4	0.3	2.4

<住みたい理由>

(件)

《住みたい》理由	ずっと 住みたい	当分の間 住みたい
住みやすい。安心できる。	42	13
自宅があるから	23	17
ずっと住んでいるから	34	4
緑、水など環境が良い	23	7
動く理由がない	13	16
公共施設など生活する上で便利	17	4
将来羽村にいるかは分からない	0	19
勤め先など生活の拠点だから	4	5
住む場所を変えるのは大変	5	3
高齢化したので動きたくない	4	2
多少不便を感じる	0	5
その他	0	4

<転出したい理由>

(件)

《転出したい》理由	できれば他の 区市町村に転 出したい	他の区市町村 に転出する
交通の便など生活しづらい	7	2
もっと便利な所に住みたい	5	0
住みづらく感じている	4	1
新しい土地で暮らしたい	5	0
将来羽村にいるかは分からない	0	2
環境が良くない	2	0
地価が高くずっと住めない	0	1

2. 市の施策に対する満足度・重要度

(1) 市の施策に対する満足度

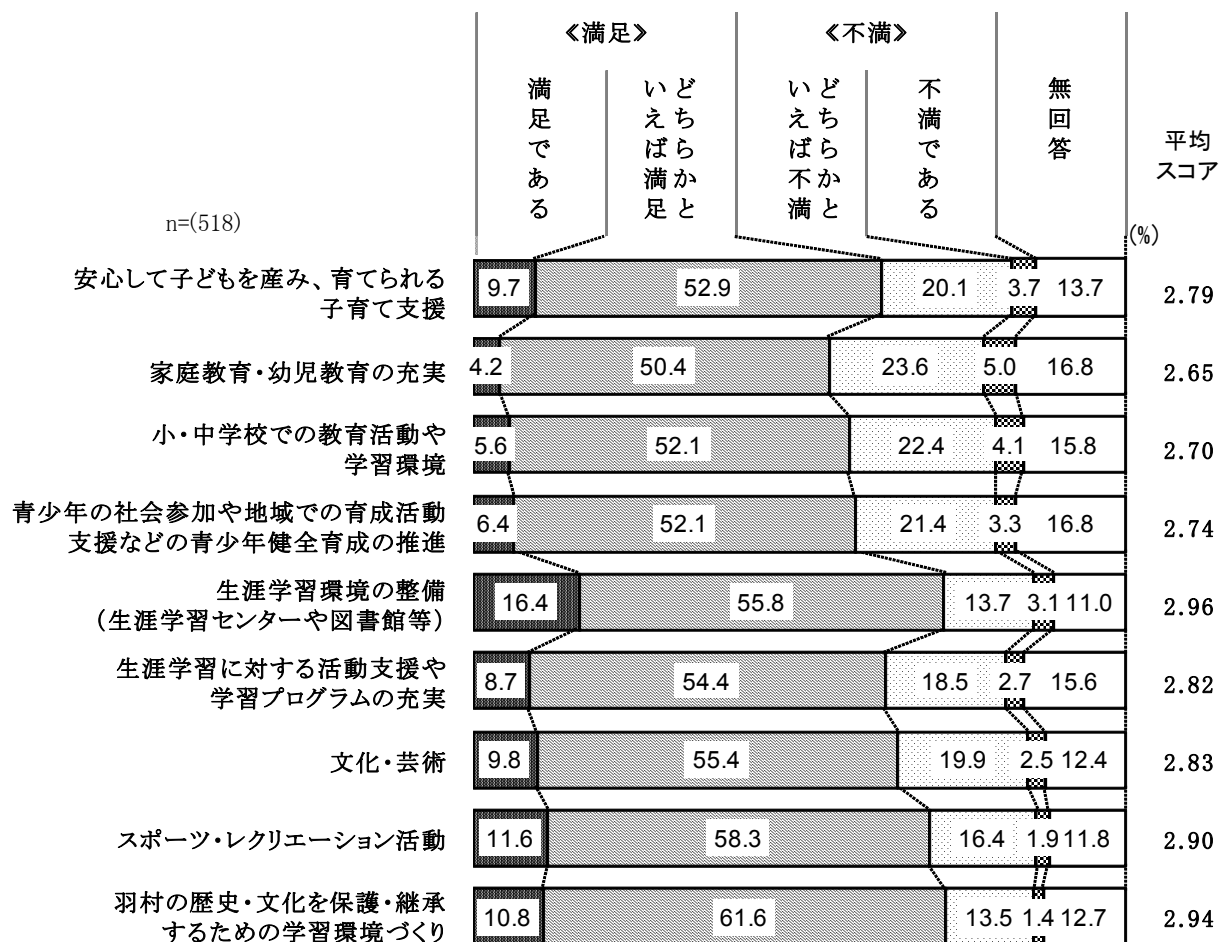
問3 羽村市が取り組んでいる施策のうち以下の各項目について、満足度、重要度のあてはまるものを1～4の中からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

基本目標1：生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

基本目標1：生涯を通じて学び育つまちは【子ども・生涯学習の分野】の項目である。

《満足》（「満足である」＋「どちらかといえば満足」）の割合が高いものをみると、“羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり”（72.4%）、“生涯学習環境の整備（生涯学習センターや図書館等）”（72.2%）の2項目が70%を超え、ついで“スポーツ・レクリエーション活動”（69.9%）、“文化・芸術”（65.2%）、“生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実”（63.1%）、“安心して子どもを産み、育てられる子育て支援”（62.6%）が60%台でつづいている。

一方、《不満》（「不満である」＋「どちらかといえば不満」）の割合が比較的高いものとしては、“家庭教育・幼児教育の充実”（28.6%）、“小・中学校での教育活動や学習環境”（26.5%）であり25%を超えている。

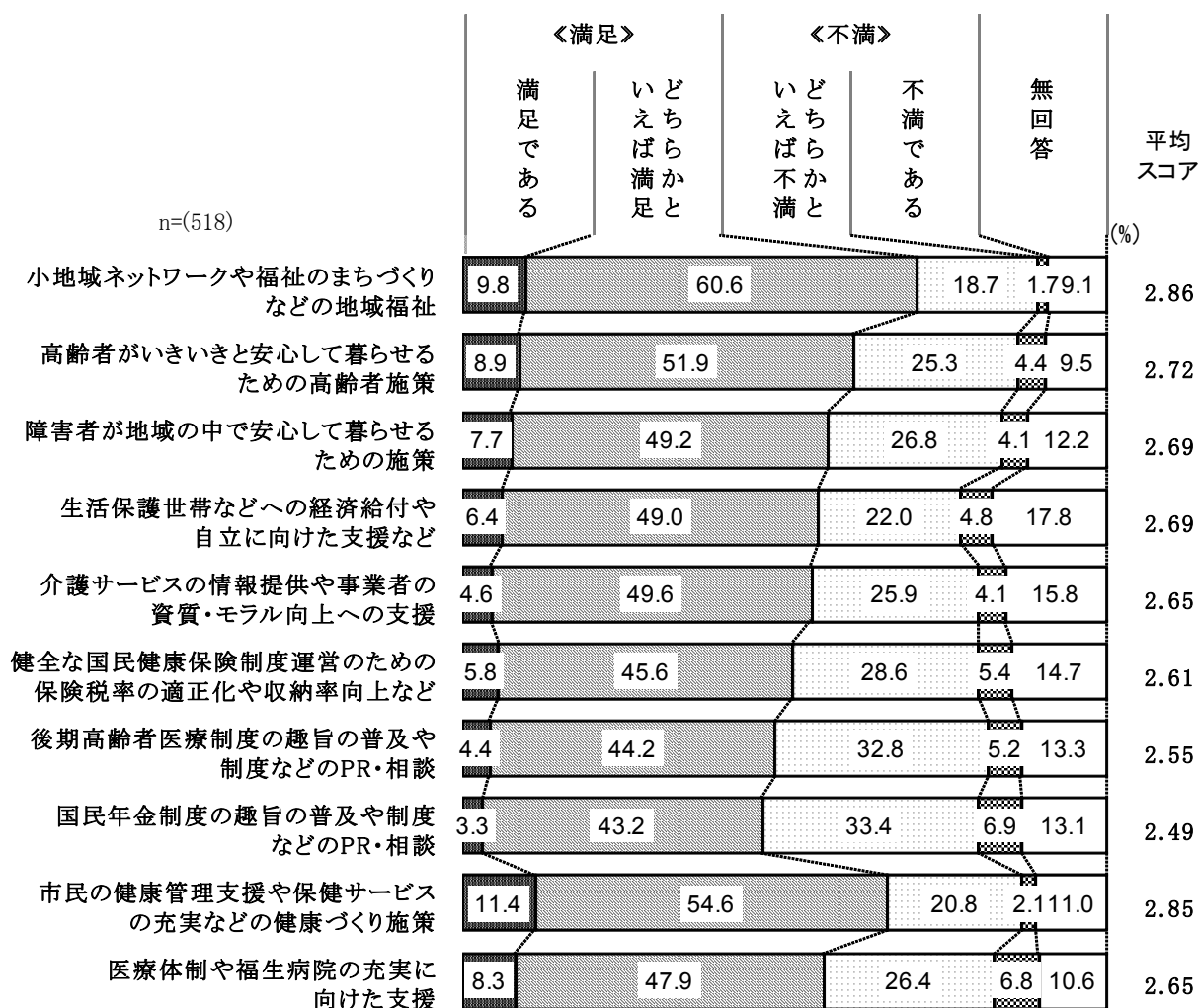


基本目標2：安心して暮らせる支え合いのまち【福祉・健康の分野】

基本目標2：安心して暮らせる支え合いのまちは【福祉・健康の分野】の項目である。

《満足》（「満足である」＋「どちらかといえば満足」）の割合が最も高いのは、“小地域ネットワークや福祉のまちづくりなどの地域福祉”（70.4%）である。以下、“市民の健康管理支援や保健サービスの充実などの健康づくり施策”（66.0%）、“高齢者がいきいきと安心して暮らせるための高齢者施策”（60.8%）の2項目が60%台でつづいている。

一方、《不満》（「不満である」＋「どちらかといえば不満」）の割合が最も高いのは、“国民年金制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談”（40.3%）であり、以下、“後期高齢者医療制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談”（38.0%）、“健全な国民健康保険制度運営のための保険税率の適正化や収納率向上など”（34.0%）、“医療体制や福生病院の充実に向けた支援”（33.2%）、“障害者が地域の中で安心して暮らせるための施策”（30.9%）、“介護サービスの情報提供や事業者の資質・モラル向上への支援”（30.0%）が30%台でつづいている。

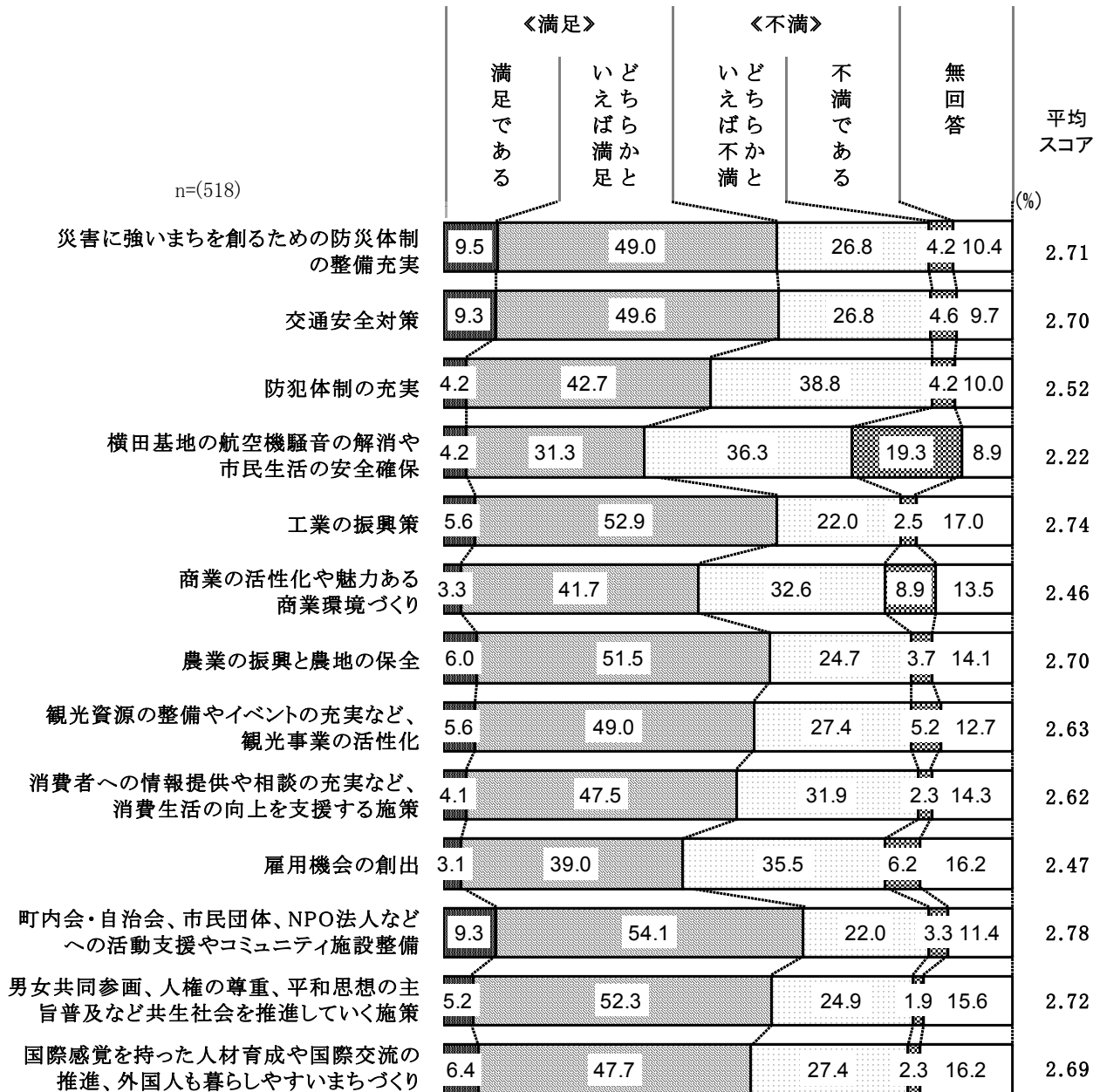


基本目標3：ふれあいと活力のあふれるまち【市民生活・産業の分野】

基本目標3：ふれあいと活力のあふれるまちは【市民生活・産業の分野】の項目である。

《満足》（「満足である」＋「どちらかといえば満足」）の割合が60%を超えるのは、“町内会・自治会、市民団体、NPO法人などへの活動支援やコミュニティ施設整備”（63.4%）の1項目のみである。

一方、《不満》（「不満である」＋「どちらかといえば不満」）の割合が最も高いのは、“横田基地の航空機騒音の解消や市民生活の安全確保”（55.6%）であり半数を超えている。ついで、“防犯体制の充実”（43.0%）、“雇用機会の創出”（41.7%）、“商業の活性化や魅力ある商業環境づくり”（41.5%）の3項目が40%台で多くなっており、以下、“消費者への情報提供や相談の充実など、消費生活の向上を支援する施策”（34.2%）、“観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化”（32.6%）、“交通安全対策”（31.4%）、“災害に強いまちを創るための防災体制の整備充実”（31.0%）が30%台でつづいている。

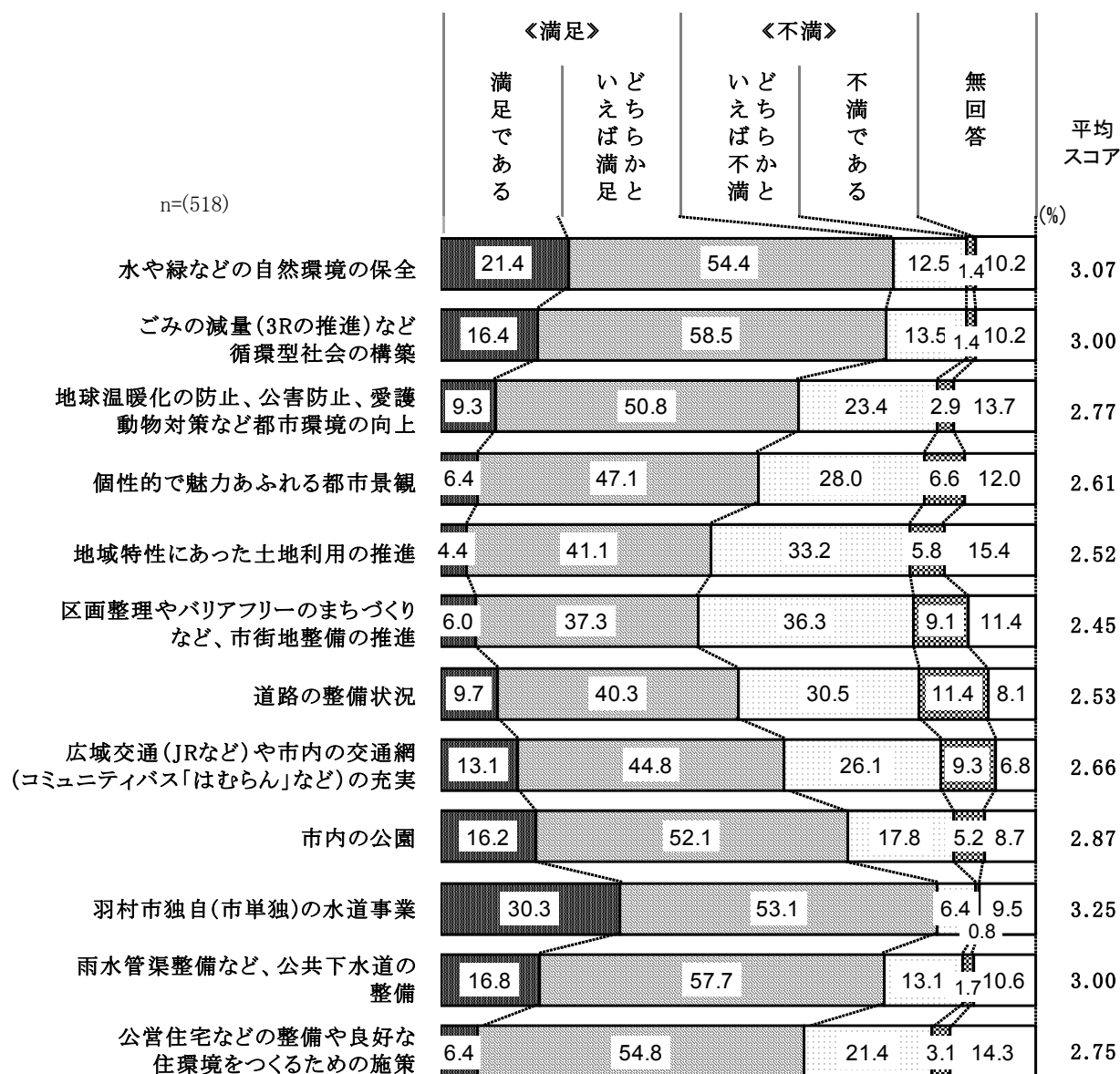


基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまち【環境・都市整備の分野】

基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまちは【環境・都市整備の分野】の項目である。

《満足》（「満足である」＋「どちらかといえば満足」）の割合が最も高いのは、“羽村市独自(市単独)の水道事業”（83.4%）であり、ついで、“水や緑などの自然環境の保全”（75.8%）、“ごみの減量（3Rの推進）など循環型社会の構築”（74.9%）、“雨水管渠整備など、公共下水道の整備”（74.5%）の3項目が70%台で多くなっている。以下、“市内の公園”（68.3%）、“公営住宅などの整備や良好な住環境をつくるための施策”（61.2%）、“地球温暖化の防止、公害防止、愛護動物対策など都市環境の向上”（60.1%）が60%台でつづいている。

一方、《不満》（「不満である」＋「どちらかといえば不満」）の割合が高いのは、“区画整理やバリアフリーのまちづくりなど、市街地整備の推進”（45.4%）、“道路の整備状況”（41.9%）が40%を超えており、ついで、“地域特性にあった土地利用の推進”（39.0%）、“広域交通（JRなど）や市内の交通網（コミュニティバス「はむらん」など）の充実”（35.4%）、“個性的で魅力あふれる都市景観”（34.6%）の3項目が30%台でつづいている。

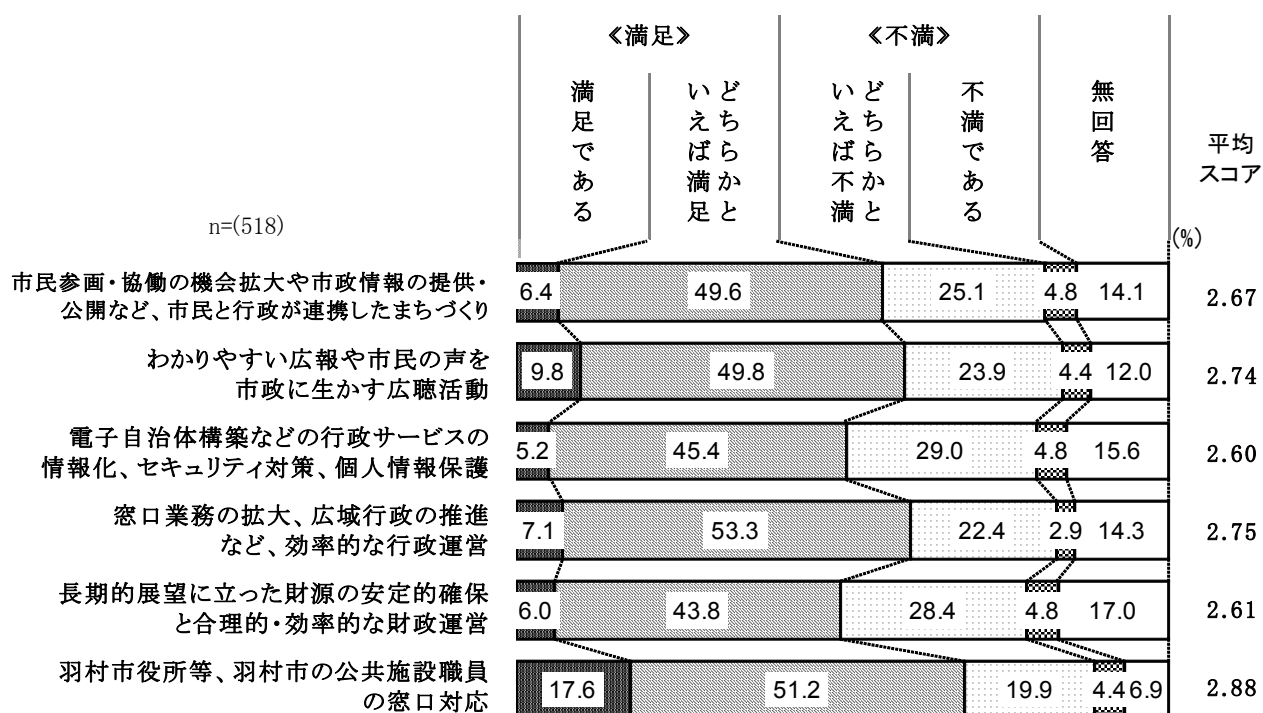


基本構想を推進するために

基本構想を推進するためには役所・行政施策関連の項目である。

《満足》（「満足である」＋「どちらかといえば満足」）の割合が最も高いのは、“羽村市役所等、羽村市の公共施設職員の窓口対応”（68.8%）であり、ついで、“窓口業務の拡大、広域行政の推進など、効率的な行政運営”（60.4%）がつづいている。

一方、《不満》（「不満である」＋「どちらかといえば不満」）の割合が高いのは、“電子自治体構築などの行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護”（33.8%）、“長期的展望に立った財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営”（33.2%）であり 30%を超えている。



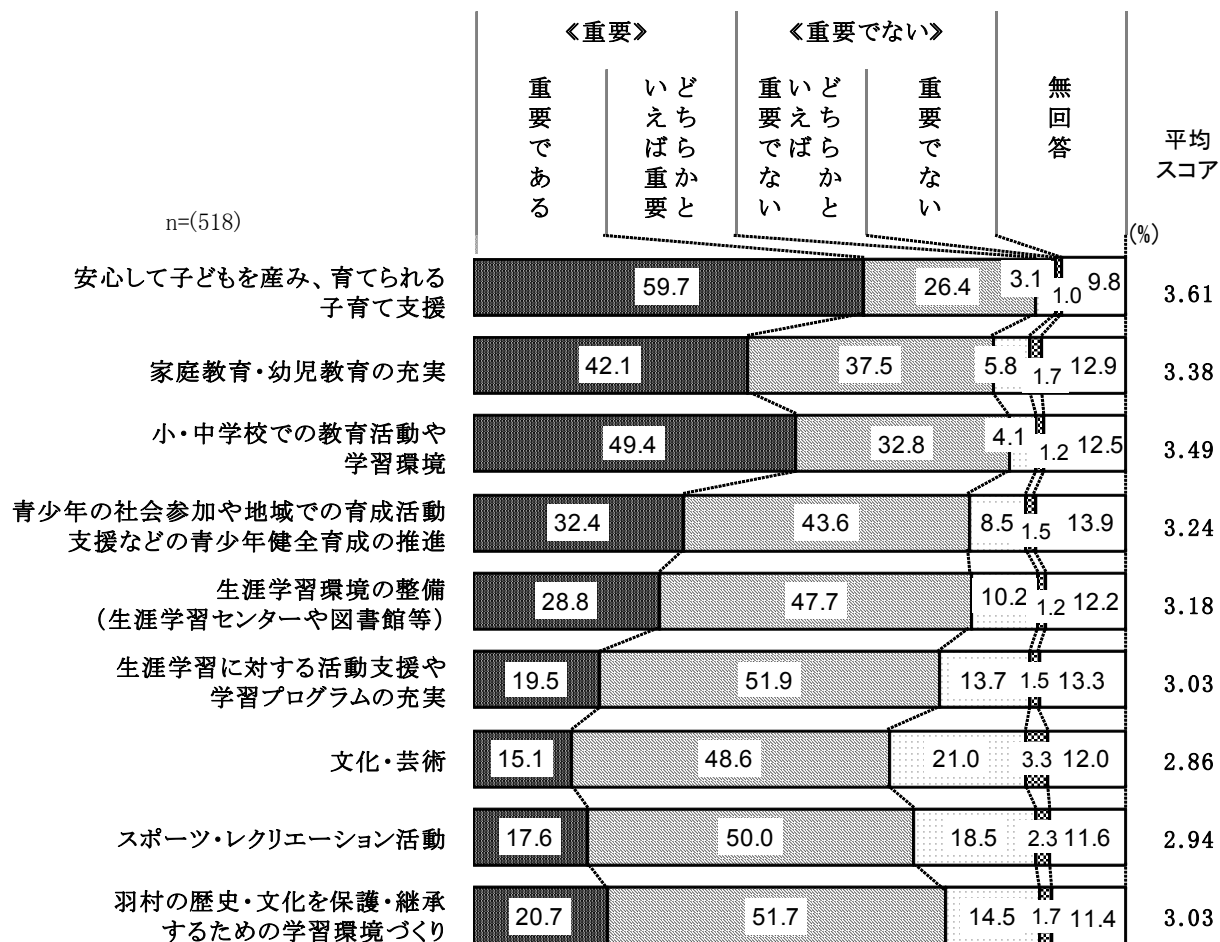
(2) 市の施策に対する重要度

問3 羽村市が取り組んでいる施策のうち以下の各項目について、満足度、重要度のあてはまるものを1～4の中からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

基本目標1：生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

基本目標1：生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】の《重要》（「重要である」＋「どちらかといえば重要」）の割合をみると、“安心して子どもを産み、育てられる子育て支援”（86.1%）が最も高く、ついで、“小・中学校での教育活動や学習環境”（82.2%）、“家庭教育・幼児教育の充実”（79.6%）がつついている。

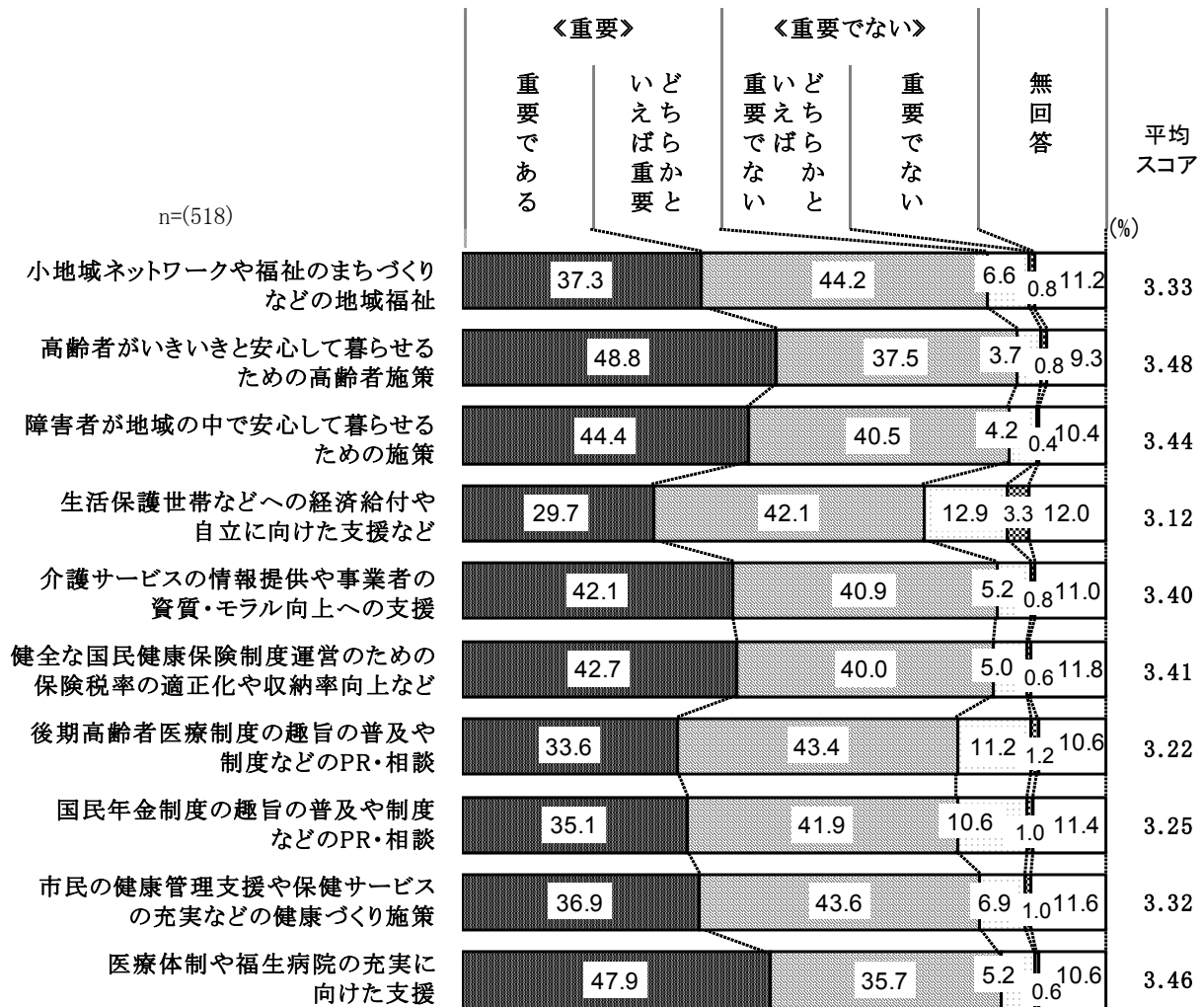
一方、“スポーツ・レクリエーション活動”（67.6%）、“文化・芸術”（63.7%）の重要度は60%台にとどまり、《重要でない》（「重要でない」＋「どちらかといえば重要でない」）が20%台とやや多くなっている。



基本目標2：安心して暮らせる支え合いのまち【福祉・健康の分野】

基本目標2：安心して暮らせる支え合いのまち【福祉・健康の分野】の《重要》（「重要である」＋「どちらかといえば重要」）の割合は、いずれの項目も70%台から80%台と多くなっている。

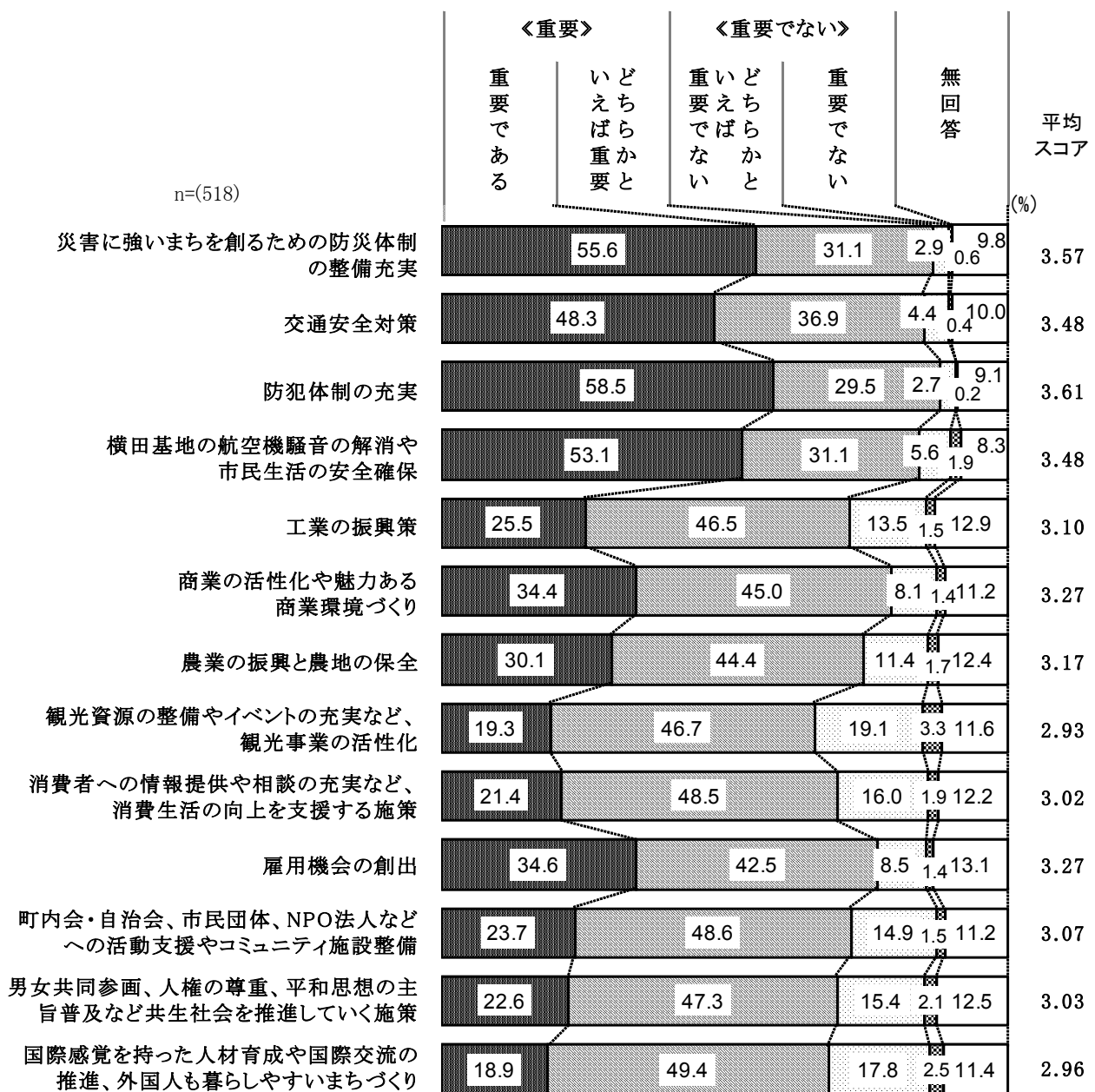
一方、《重要でない》（「重要でない」＋「どちらかといえば重要でない」）では、“生活保護世帯などへの経済給付や自立に向けた支援など”が16.2%とやや多くなっている。



基本目標3：ふれあいと活力のあふれるまち【市民生活・産業の分野】

基本目標3：ふれあいと活力のあふれるまち【市民生活・産業の分野】の《重要》（「重要である」＋「どちらかといえば重要」）の割合が80%を超えるのは、“防犯体制の充実”（88.0%）、“災害に強いまちを創るための防災体制の整備充実”（86.7%）、“交通安全対策”（85.2%）、“横田基地の航空機騒音の解消や市民生活の安全確保”（84.2%）の4項目があげられている。

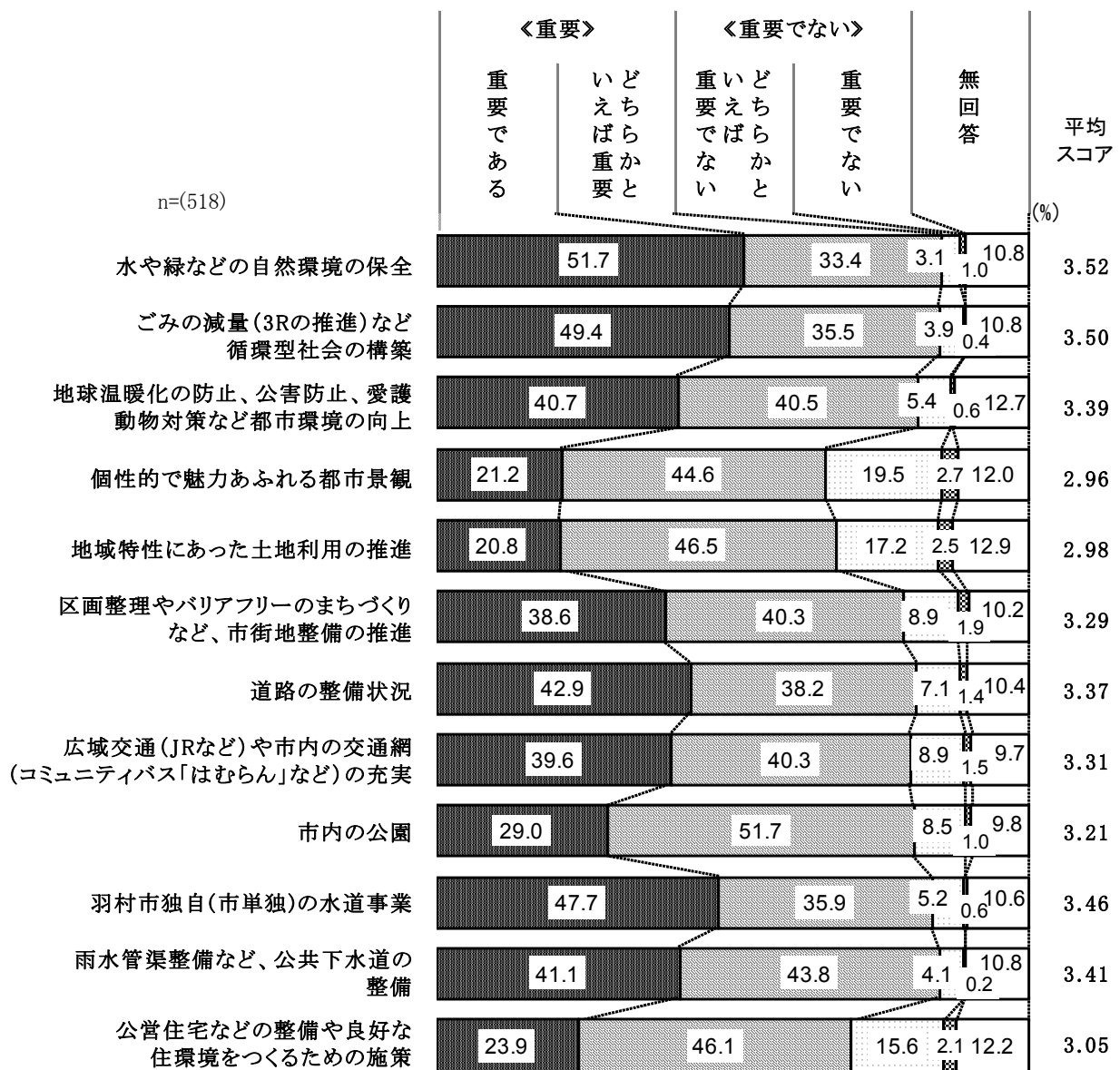
一方、《重要でない》（「重要でない」＋「どちらかといえば重要でない」）は、“観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化”（22.4%）と“国際感覚を持った人材育成や国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり”（20.3%）が20%台とやや多くなっている。



基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまち【環境・都市整備の分野】

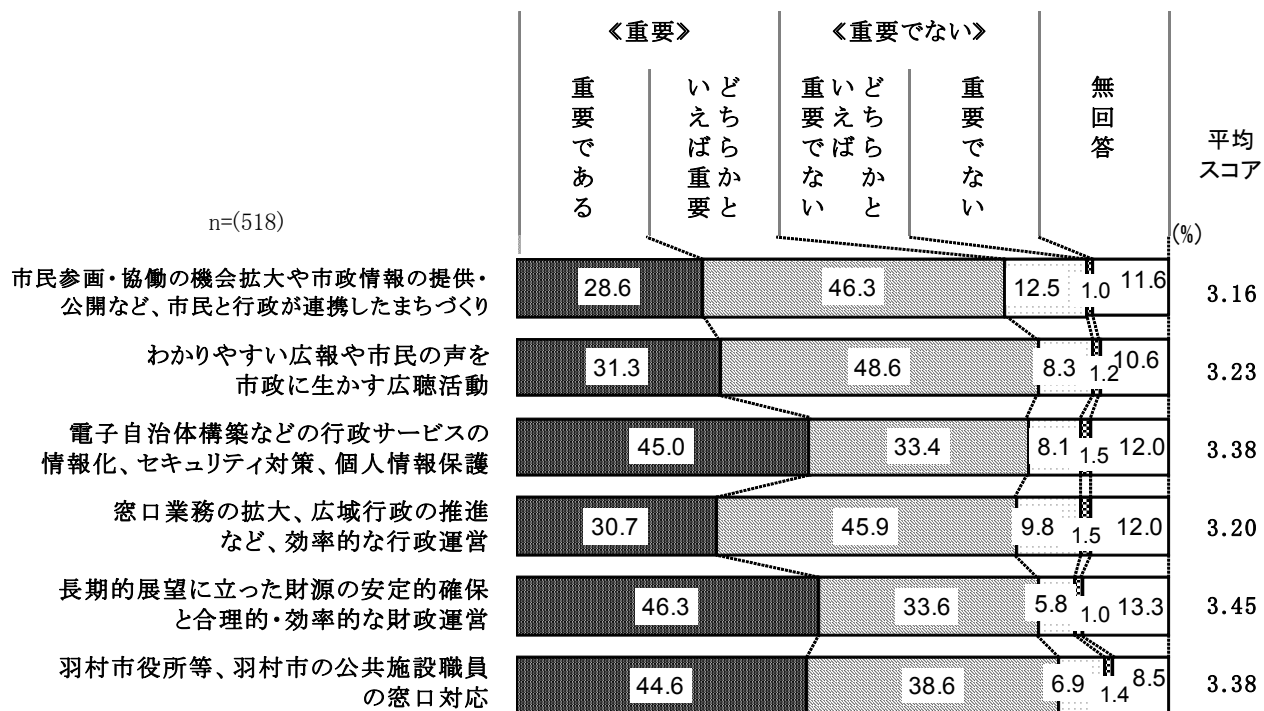
基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまち【環境・都市整備の分野】の《重要》（「重要である」+「どちらかといえば重要」）の割合が80%を超えるのは、“水や緑などの自然環境の保全”（85.1%）、“ごみの減量（3Rの推進）など循環型社会の構築”（84.9%）、“雨水管渠整備など、公共下水道の整備”（84.9%）“羽村市独自（市単独）の水道事業”（83.6%）、“地球温暖化の防止、公害防止、愛護動物対策など都市環境の向上”（81.2%）、“市内の公園”（80.7%）の6項目があげられている。

一方、《重要でない》（「重要でない」+「どちらかといえば重要でない」）は、“個人的で魅力あふれる都市景観”（22.2%）と“地域特性にあった土地利用の推進”（19.7%）が20%前後とやや多くなっている。



基本構想を推進するために

基本構想を推進するための《重要》（「重要である」＋「どちらかといえば重要」）の割合は、いずれの項目も70%台から80%台と多くなっており、《重要でない》（「重要でない」＋「どちらかといえば重要でない」）が15%を超える項目はみられない。



(3) 満足度と重要度からみたゾーニング分析

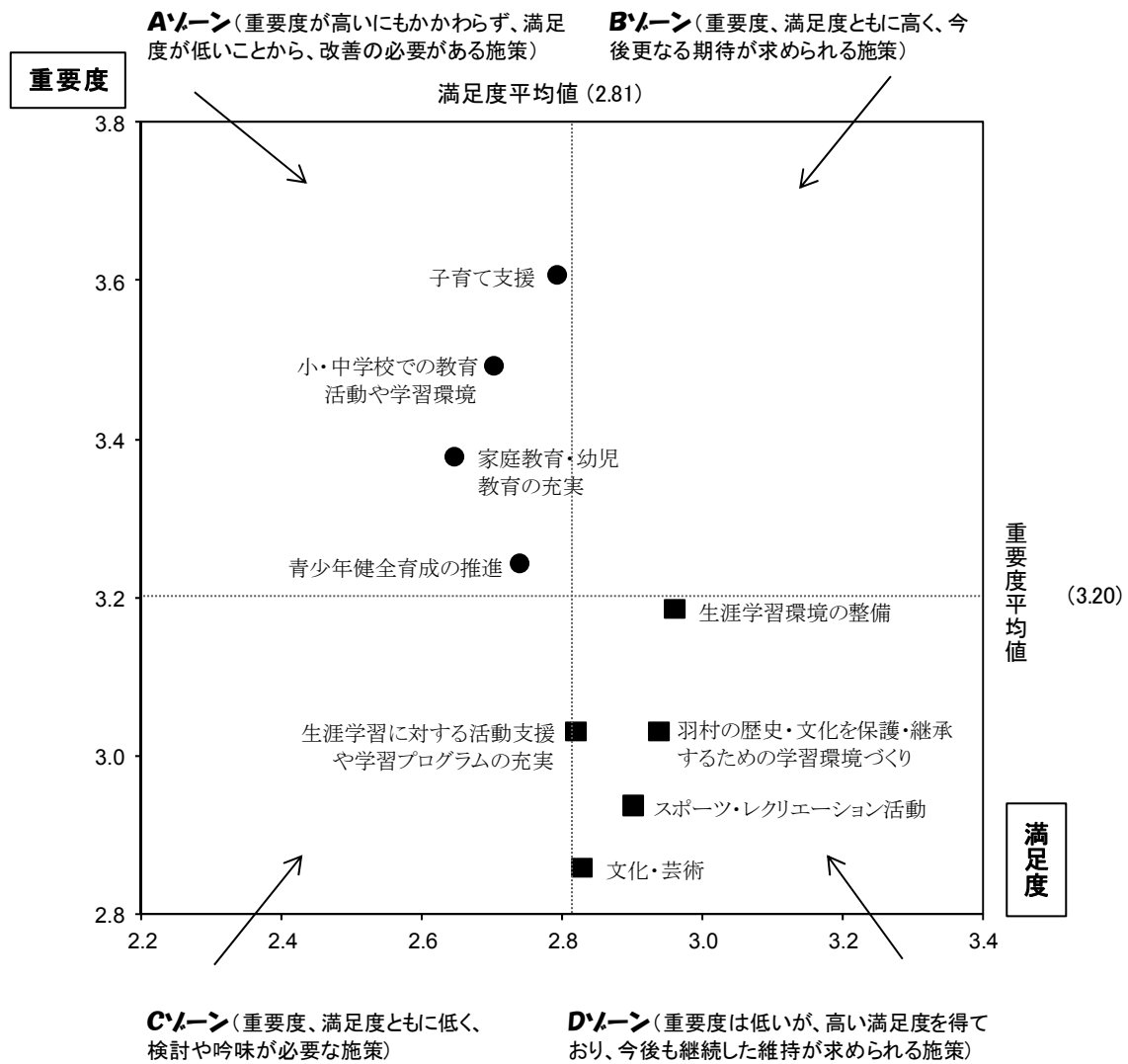
各項目を相対的に評価するため、満足度を横軸に、重要度を縦軸にとり、各基本目標の施策の平均値を境として4つのゾーンに分類した。なお、満足度と重要度における各基本目標の施策の平均値の算出方法は以下のとおりである。

- ※「満足である」「重要である」＝「4」
 - 「どちらかといえば満足」「どちらかといえば重要」＝「3」
 - 「どちらかといえば不満」「どちらかといえば重要でない」＝「2」
 - 「不満である」「重要でない」＝「1」
- として得点を与え、「4」から「1」の回答者をベースに加重平均値を計算。

4つのゾーンの特性は以下のとおりであり、特に、Aゾーンの項目については、優先課題として検討が求められる。

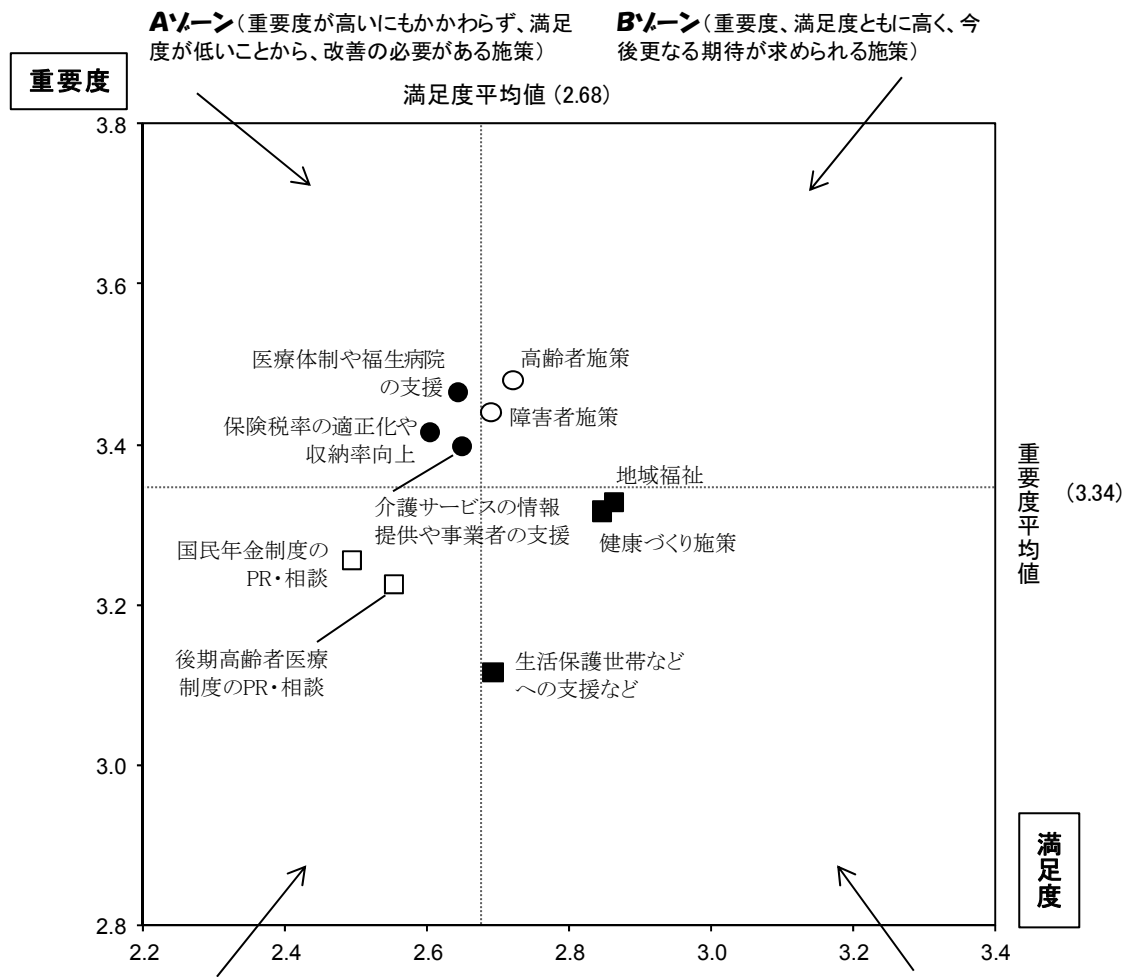
各ゾーンの特性
Aゾーン 重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目。 グラフ左上のAゾーンに位置する項目は、とくに施策の推進や改善に対する市民のニーズが高く、優先課題に位置づけられる。
Bゾーン 重要度、満足度ともに平均値より高い項目。 グラフ右上のBゾーンに位置する項目は、現在の取り組みにも満足している市民が多いが、重要度も高いことから、今後更なる期待がされていると考えられる。
Cゾーン 重要度、満足度ともに平均値より低い項目。 グラフ左下のCゾーンに位置する項目は、満足度の向上を目指しつつも、施策実施の方法や周知の方法などについても検討が必要な項目と考えられる。
Dゾーン 重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目。 グラフ右下のDゾーンに位置する項目は、現状の取り組みには満足している項目であり、現状維持が求められていると考えられる。

基本目標1：生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】



		満足度	重要度
●Aゾーン	家庭教育・幼児教育の充実	2.65	3.38
	小・中学校での教育活動や学習環境	2.70	3.49
	青少年健全育成の推進	2.74	3.24
	子育て支援	2.79	3.61
■Dゾーン	生涯学習環境の整備	2.96	3.18
	生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	2.82	3.03
	文化・芸術	2.83	2.86
	スポーツ・レクリエーション活動	2.90	2.94
	羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	2.94	3.03

基本目標2：安心して暮らせる支え合いのまち【福祉・健康の分野】

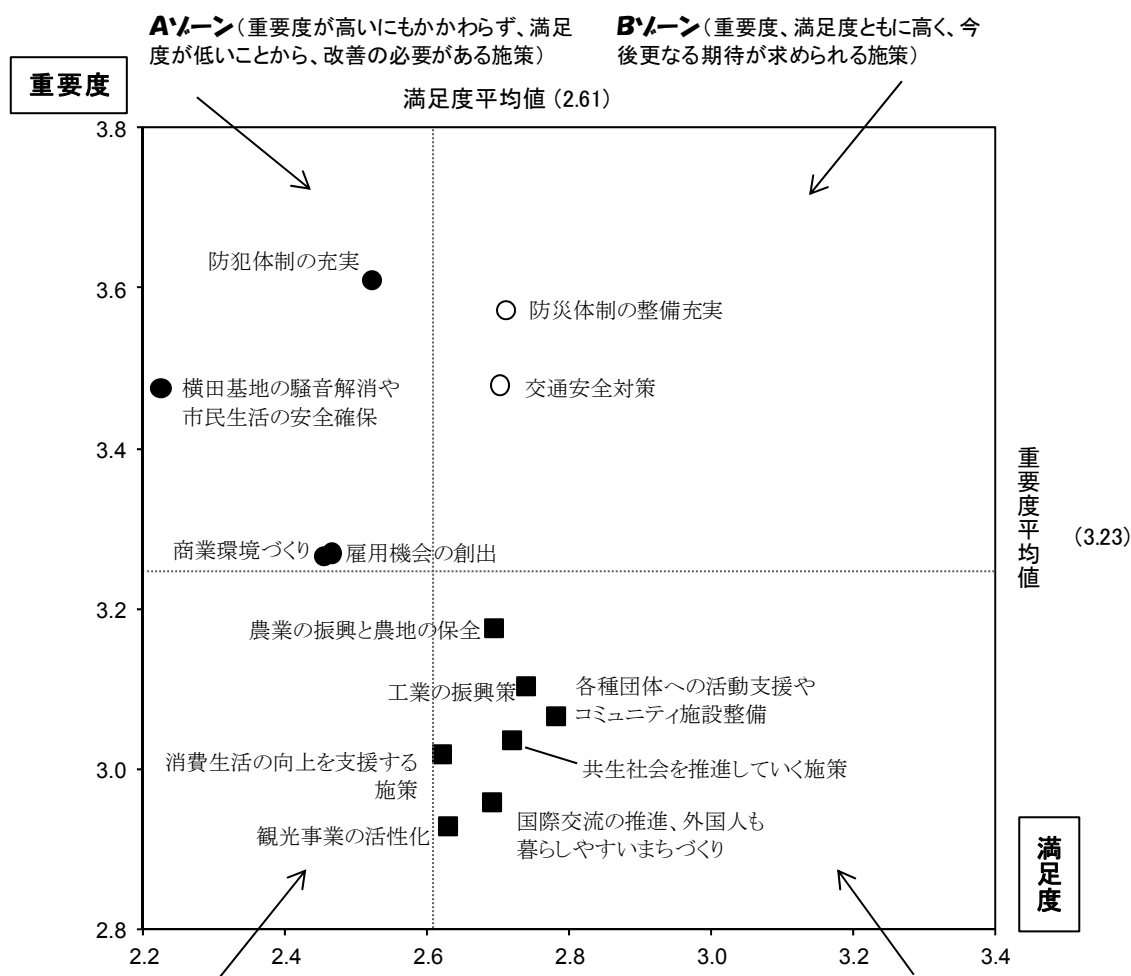


Cゾーン（重要度、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策）

Dゾーン（重要度は低いが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策）

		満足度	重要度
●Aゾーン	介護サービスの情報提供や事業者の支援	2.65	3.40
	保険税率の適正化や収納率向上	2.61	3.41
	医療体制や福生病院の支援	2.65	3.46
○Bゾーン	高齢者施策	2.72	3.48
	障害者施策	2.69	3.44
□Cゾーン	後期高齢者医療制度のPR・相談	2.55	3.22
	国民年金制度のPR・相談	2.49	3.25
■Dゾーン	地域福祉	2.86	3.33
	生活保護世帯などへの支援など	2.69	3.12
	健康づくり施策	2.85	3.32

基本目標3：ふれあいと活力のあるまち【市民生活・産業の分野】

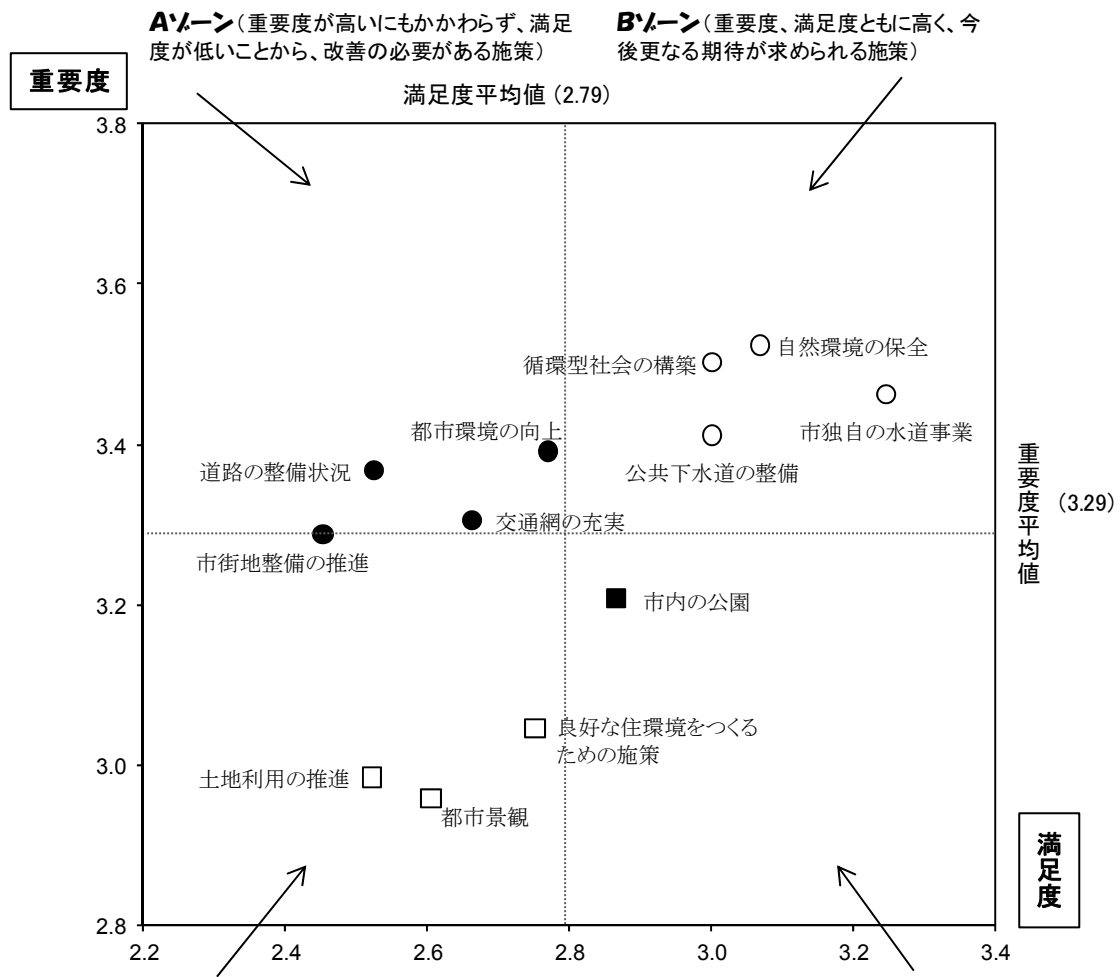


Cゾーン (重要度、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)

Dゾーン (重要度は低いが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策)

		満足度	重要度
●Aゾーン	防犯体制の充実	2.52	3.61
	横田基地の騒音解消や市民生活の安全確保	2.22	3.48
	商業環境づくり	2.46	3.27
	雇用機会の創出	2.47	3.27
○Bゾーン	防災体制の整備充実	2.71	3.57
	交通安全対策	2.70	3.48
■Dゾーン	工業の振興策	2.74	3.10
	農業の振興と農地の保全	2.70	3.17
	観光事業の活性化	2.63	2.93
	消費生活の向上を支援する施策	2.62	3.02
	各種団体への活動支援やコミュニティ施設整備	2.78	3.07
	共生社会を推進していく施策	2.72	3.03
	国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	2.69	2.96

基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまち【環境・都市整備の分野】

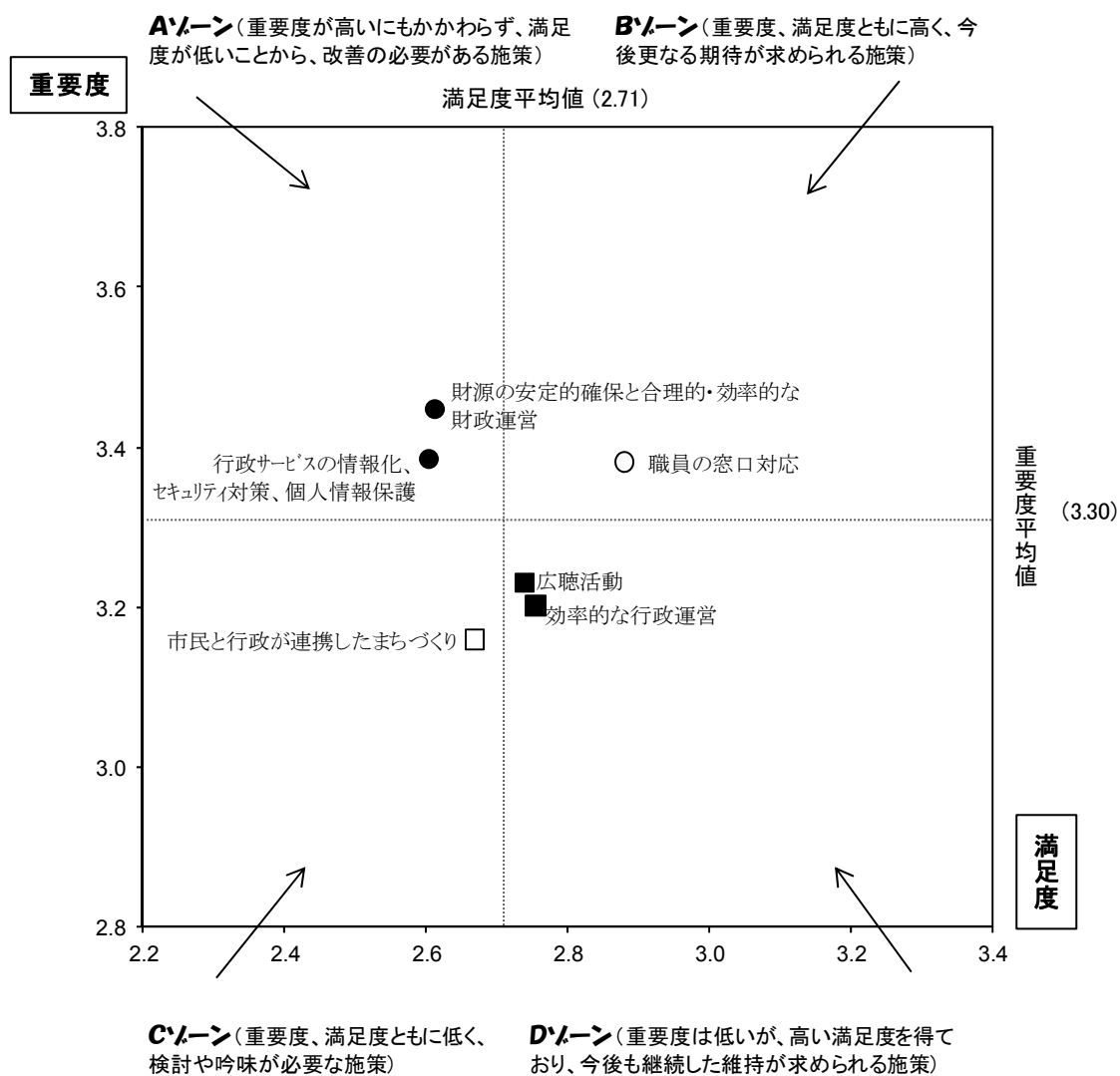


Cゾーン (重要度、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)

Dゾーン (重要度は低いが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策)

		満足度	重要度
●Aゾーン	都市環境の向上	2.77	3.39
	市街地整備の推進	2.45	3.29
	道路の整備状況	2.53	3.37
	交通網の充実	2.66	3.31
○Bゾーン	自然環境の保全	3.07	3.52
	循環型社会の構築	3.00	3.50
	市独自の水道事業	3.25	3.46
□Cゾーン	公共下水道の整備	3.00	3.41
	都市景観	2.61	2.96
	土地利用の推進	2.52	2.98
■Dゾーン	良好な住環境をつくるための施策	2.75	3.05
	市内の公園	2.87	3.21

基本構想を推進するために



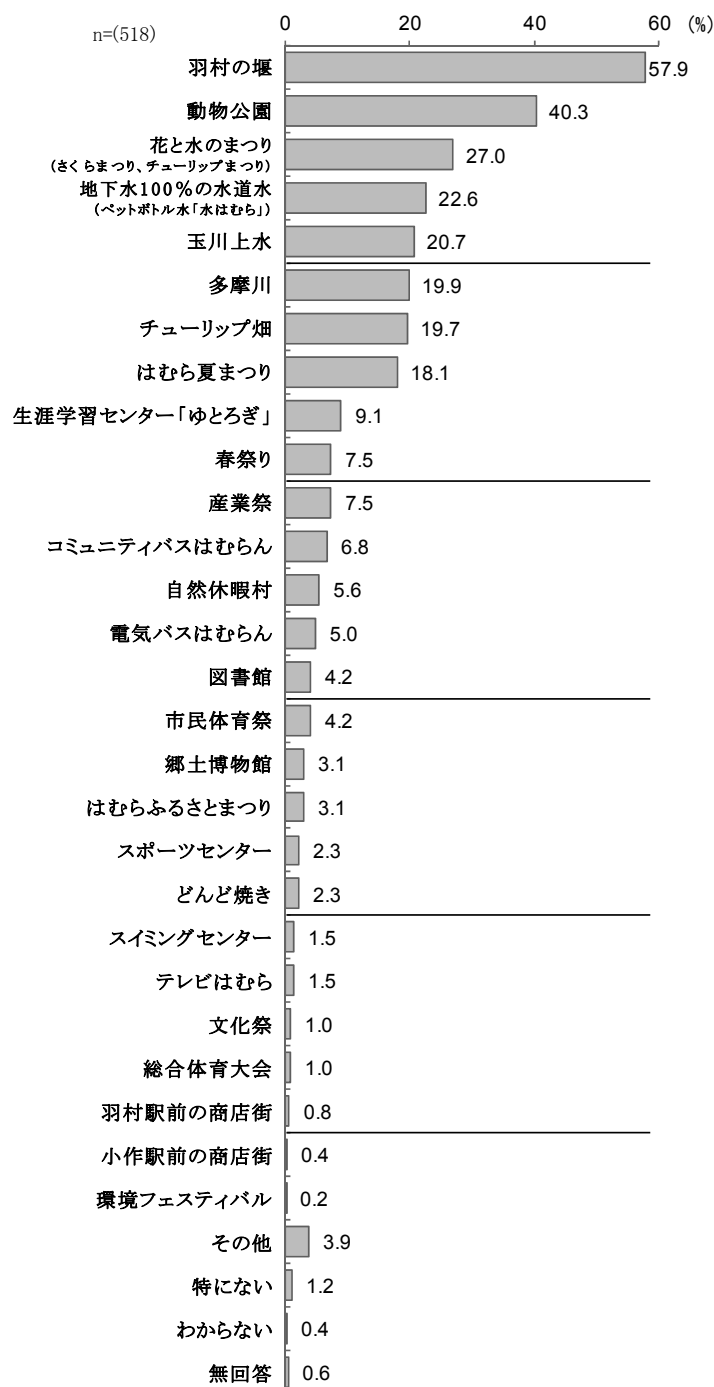
		満足度	重要度
●Aゾーン	行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	2.60	3.38
	財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営	2.61	3.45
○Bゾーン	職員の窓口対応	2.88	3.38
□Cゾーン	市民と行政が連携したまちづくり	2.67	3.16
■Dゾーン	広聴活動	2.74	3.23
	効率的な行政運営	2.75	3.20

3. 羽村市の魅力・羽村らしさ

(1) 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事

羽村市の施設や行事の中で、魅力や羽村らしさを感じるものとしては、「羽村の堰」が 57.9%と 6 割近くを占め、最も多くなっている。ついで、「動物公園」が 40.3%と多く、以下、「花と水のまつり（さくらまつり、チューリップまつり）」(27.0%)、「地下水 100%の水道水(ペットボトル水『水はむら』)」(22.6%)「玉川上水」(20.7%)、「多摩川」(19.9%)、「チューリップ畑」(19.7%)、「はむら夏まつり」(18.1%)が 20%前後でつづいている。

問4 羽村市に関するキーワードの中で、あなたが魅力や羽村らしさを感じるものはどれですか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)



その他の回答内容	件数
花々や自然	3
都市整備（道路が整備されている）	1
防災訓練	1
小学校全校参加の陸上大会、ジュニア駅伝大会、水泳大会の開催	1
水も魅力や羽村らしさの1つである	1
産業道路沿いの工業地帯	1
テニスコート	1
その他	9

上位 10 項目について前回調査と比較すると、「動物公園」が 20 ポイント強増加しているのが目立っているほか、「羽村の堰」、「多摩川」、「チューリップ畑」、「はむら夏まつり」も 10 ポイント前後増加している。

【上位 10 項目】

(%)

	羽村の堰	動物公園	花と水のまつり (さくらまつり、チューリップまつり)	地下水 100%の水道水 (ペットボトル水「水はむら」)	玉川上水	多摩川	チューリップ畑	はむら夏まつり	生涯学習センター「ゆとろぎ」	春祭り
今回 (H27)	57.9	40.3	27.0	22.6	20.7	19.9	19.7	18.1	9.1	7.5
前回 (H22)	48.1	18.9	31.3	15.2	18.3	10.0	9.4	9.1	3.3	6.8
前々回 (H15)	42.0	20.5	39.2	該当なし	16.5	10.4	12.0	9.4	2.1	6.8

上位 10 項目について、属性別にみたのが、以下の表である。

性別にみると、「羽村の堰」は男性、「花と水のまつり（さくらまつり、チューリップまつり）」は女性にやや多くなっている。

性・年代別にみると、男性 30 歳代では「玉川上水」、男性 40 歳代では「はむら夏まつり」、「地下水 100%の水道水（ペットボトル水『水はむら』）」をあげる人が多くなっている。女性 20 歳代では「動物公園」、「チューリップ畑」、女性 30 歳代では「動物公園」、「花と水のまつり（さくらまつり、チューリップまつり）」をあげる人が多くなっている。

地区・ブロック別にみると、「羽村の堰」は五ノ神、羽中、玉川・羽 600～700 番台で、「動物公園」は富士見平・羽 4000 番台、川崎で多くなっている。

【上位10項目】

(%)

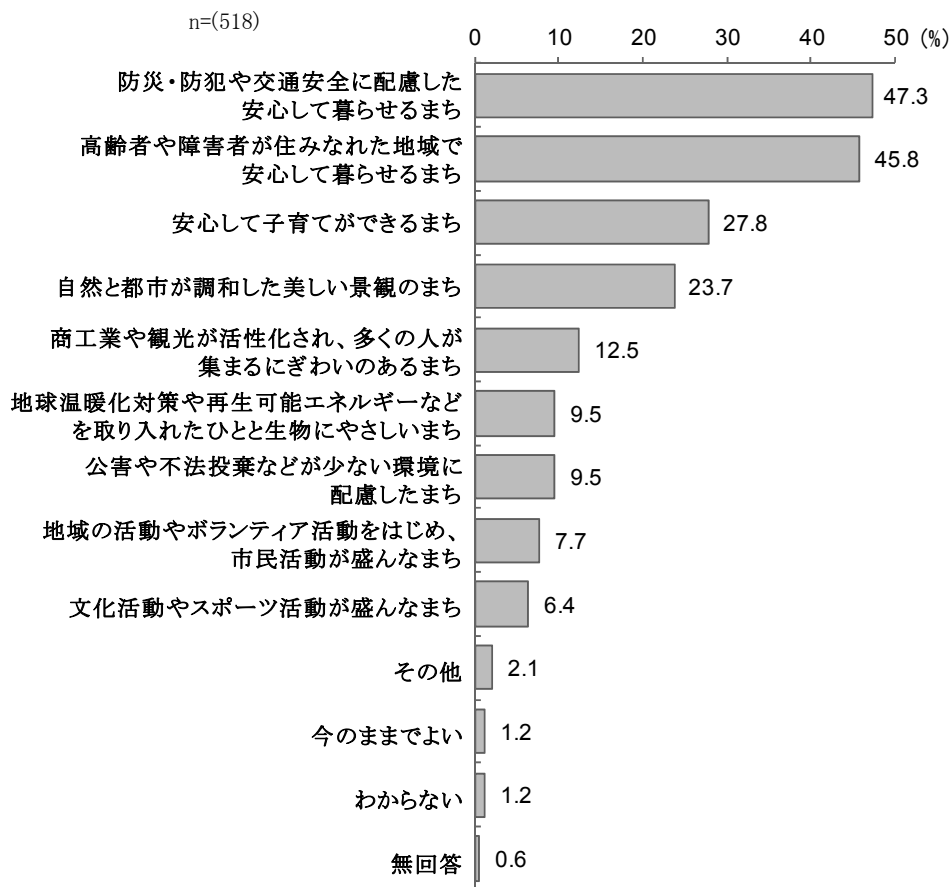
	N	羽村の堰	動物公園	花と水のまつり(さくらまつり、チューリップまつり)	地下水 100%の水道水(ペットボトル水「水はむら」)	玉川上水	多摩川	チューリップ畑	はむら夏まつり	生涯学習センター「ゆとろぎ」	春祭り
【全体】	518	57.9	40.3	27.0	22.6	20.7	19.9	19.7	18.1	9.1	7.5
【性別】											
男	213	62.0	39.9	20.7	24.9	25.4	23.0	16.4	21.1	8.5	6.1
女	300	55.3	40.7	32.0	21.0	17.7	17.7	22.0	16.3	9.3	8.7
【性・年代別】											
男・20歳未満	3	66.7	33.3	★ 0.0	★ 0.0	□ 33.3	□ 33.3	□ 33.3	● 0.0	☆ 33.3	0.0
男・20歳代	13	61.5	30.8	■ 15.4	■ 7.7	□ 23.1	□ 30.8	□ 15.4	☆ 38.5	☆ 7.7	0.0
男・30歳代	24	66.7	45.8	29.2	25.0	☆ 41.7	20.8	■ 8.3	■ 4.2	8.3	0.0
男・40歳代	40	57.5	42.5	● 7.5	□ 35.0	12.5	25.0	22.5	☆ 40.0	10.0	2.5
男・50歳代	29	65.5	31.0	■ 13.8	20.7	□ 34.5	20.7	20.7	□ 31.0	3.4	10.3
男・60歳代	51	62.7	39.2	31.4	19.6	25.5	27.5	11.8	13.7	5.9	5.9
男・70歳以上	53	60.4	43.4	22.6	30.2	22.6	17.0	17.0	13.2	11.3	11.3
女・20歳未満	3	★ 0.0	★ 0.0	33.3	□ 33.3	★ 0.0	☆ 66.7	● 0.0	☆ 66.7	0.0	0.0
女・20歳代	22	★ 36.4	☆ 63.6	36.4	13.6	18.2	■ 9.1	○ 36.4	☆ 27.3	4.5	4.5
女・30歳代	33	54.5	□ 51.5	○ 42.4	18.2	15.2	15.2	27.3	24.2	12.1	0.0
女・40歳代	52	53.8	36.5	28.8	23.1	15.4	■ 9.6	19.2	26.9	17.3	7.7
女・50歳代	55	60.0	43.6	36.4	18.2	20.0	20.0	□ 32.7	14.5	3.6	□ 18.2
女・60歳代	70	58.6	44.3	27.1	25.7	22.9	□ 30.0	12.9	■ 7.1	2.9	8.6
女・70歳以上	65	58.5	■ 26.2	29.2	20.0	13.8	10.8	18.5	9.2	15.4	7.7
【地区・ブロック別】											
神明台	78	59.0	39.7	25.6	□ 33.3	17.9	20.5	14.1	19.2	7.7	5.1
双葉町	28	● 42.9	50.0	■ 14.3	17.9	□ 32.1	14.3	17.9	17.9	7.1	3.6
五ノ神	36	□ 69.4	44.4	□ 41.7	16.7	19.4	13.9	16.7	22.2	11.1	8.3
富士見平・羽4000番台	42	■ 47.6	☆ 61.9	21.4	21.4	16.7	19.0	19.0	23.8	2.4	4.8
緑ヶ丘	65	58.5	40.0	27.7	■ 10.8	16.9	13.8	20.0	26.2	15.4	9.2
栄町	43	62.8	□ 53.5	30.2	18.6	30.2	11.6	23.3	20.9	7.0	7.0
小作台	50	58.0	□ 54.0	26.0	32.0	18.0	18.0	22.0	14.0	12.0	2.0
羽西	27	48.1	● 22.2	22.2	22.2	22.2	□ 33.3	29.6	■ 7.4	7.4	11.1
羽加美	36	52.8	★ 19.4	□ 41.7	30.6	11.1	22.2	□ 30.6	13.9	2.8	2.8
羽中	34	□ 70.6	● 20.6	26.5	26.5	23.5	20.6	23.5	■ 5.9	5.9	14.7
羽東	38	55.3	31.6	21.1	15.8	23.7	□ 34.2	13.2	23.7	13.2	○ 23.7
川崎	19	57.9	○ 57.9	● 10.5	15.8	15.8	21.1	15.8	21.1	10.5	0.0
玉川・羽600～700番台	16	○ 75.0	★ 12.5	○ 43.8	25.0	□ 31.3	18.8	■ 6.3	● 0.0	6.3	6.3

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(2) 希望する将来の市のまちづくり

将来の羽村市がどのようなまちであってほしいかについては、「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」(47.3%)と「高齢者や障害者が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」(45.8%)の2項目が40%台で上位にあげられ、ついで、「安心して子育てができるまち」(27.8%)と「自然と都市が調和した美しい景観のまち」(23.7%)が20%台でつづいている。

問5 将来の羽村市はどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
皆がお互いを大切にして暮らしやすいまち	2
福祉や子育て	2
賑わいのある活気あるまち	2
自然豊かで住環境も整備されたまち	2
目先の繁栄よりは、持続可能なまちに。	1
区画整理による清算金等に苦しめられないまち	1
その他	2

上位4項目について過去の調査と比較すると、上位2項目については大きな差はみられない。

【上位4項目】

(%)

	防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち	高齢者や障害者が住みなれた地域で安心して暮らせるまち	安心して子育てができるまち	自然と都市が調和した美しい景観のまち (※)
今回(H27)	47.3	45.8	27.8	23.7
前回(H22)	43.3	44.7	32.2	33.1
前々回(H15)	43.3	39.8	28.1	33.3

※前回、前々回の選択肢は「緑豊かな美しい景観のまち」

上位4項目について、属性別にみたのが、以下の表である。

性・年代別にみると、「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」は、各層からおおむね40～50%の人があげている。「高齢者や障害者が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」は、男女とも年代が高くなるほど要望が多くなっている。「安心して子育てができるまち」は、男女とも40歳代以下に多い要望となっている。「自然と都市が調和した美しい景観のまち」は、男性30歳代での要望の高さが目立っている。

地区・ブロック別にみると、「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」は、羽西、羽加美で60%台と多くなっている。「高齢者や障害者が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」は、双葉町、富士見平・羽4000番台で60%台と多くなっている。

【上位4項目】		(%)			
	N	防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち	高齢者や障害者が住みなれた地域で安心して暮らせるまち	安心して子育てができるまち	自然と都市が調和した美しい景観のまち
【全体】	518	47.3	45.8	27.8	23.7
【性別】					
男	213	46.0	42.3	23.9	28.6
女	300	47.7	48.7	30.7	20.7
【性・年代別】					
男・20歳未満	3	■ 33.3	■ 33.3	33.3	☆ 66.7
男・20歳代	13	□ 61.5	★ 0.0	□ 38.5	30.8
男・30歳代	24	45.8	★ 20.8	33.3	☆ 45.8
男・40歳代	40	42.5	● 27.5	□ 40.0	□ 35.0
男・50歳代	29	48.3	41.4	■ 17.2	17.2
男・60歳代	51	41.2	52.9	■ 17.6	31.4
男・70歳以上	53	49.1	○ 64.2	■ 13.2	17.0
女・20歳未満	3	■ 33.3	■ 33.3	★ 0.0	33.3
女・20歳代	22	40.9	■ 31.8	☆ 54.5	31.8
女・30歳代	33	42.4	■ 33.3	☆ 48.5	30.3
女・40歳代	52	48.1	■ 34.6	○ 44.2	23.1
女・50歳代	55	54.5	49.1	27.3	20.0
女・60歳代	70	51.4	51.4	20.0	18.6
女・70歳以上	65	43.1	☆ 70.8	18.5	■ 12.3
【地区・ブロック別】					
神明台	78	46.2	42.3	30.8	30.8
双葉町	28	● 28.6	☆ 67.9	○ 42.9	17.9
五ノ神	36	50.0	38.9	■ 16.7	33.3
富士見平・羽4000番台	42	50.0	○ 61.9	26.2	19.0
緑ヶ丘	65	50.8	43.1	27.7	16.9
栄町	43	■ 37.2	39.5	25.6	23.3
小作台	50	50.0	52.0	32.0	24.0
羽西	27	○ 66.7	48.1	25.9	25.9
羽加美	36	□ 61.1	47.2	33.3	19.4
羽中	34	55.9	44.1	20.6	17.6
羽東	38	● 31.6	47.4	18.4	28.9
川崎	19	42.1	● 26.3	31.6	26.3
玉川・羽600～700番台	16	43.8	■ 31.3	25.0	31.3

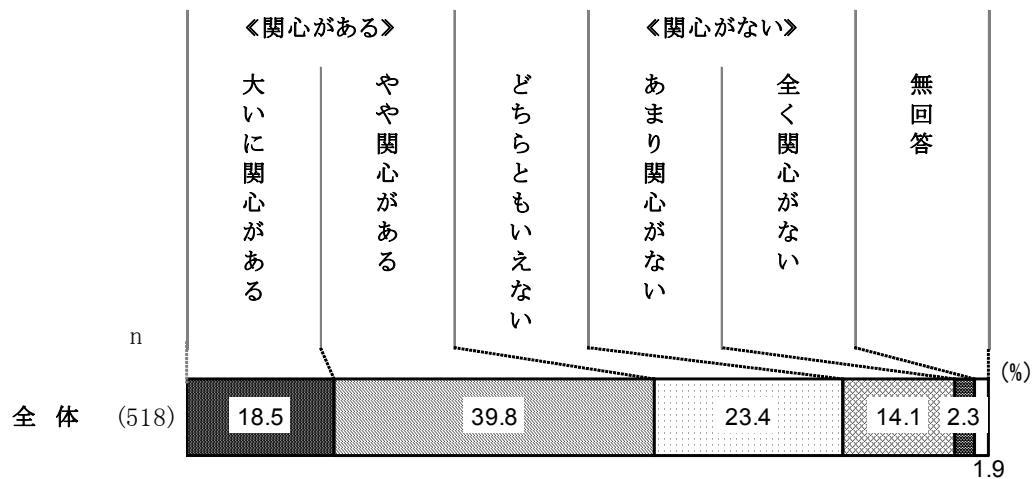
全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

4. 市政への関心度

(1) 市政への関心度

市政への関心については、「大いに関心がある」が18.5%、「やや関心がある」が39.8%で、これをあわせた《関心がある》は58.3%と6割近くを占めている。一方、「全く関心がない」(2.3%)、「あまり関心がない」(14.1%)をあわせた《関心がない》は16.4%にとどまっている。

問6 あなたは市政にどの程度関心をもっていますか。次の中から選んでください。(〇は1つ)



過去の調査と比較しても、大きな差はみられない。

(%)

	大に関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
今回 (H27)	18.5	39.8	23.4	14.1	2.3	1.9
前回 (H22)	18.1	40.3	20.9	15.5	3.5	1.7
前々回 (H17)	14.7	36.2	28.0	14.4	2.6	4.2

性・年代別にみると、《関心がある》は男性 60 歳代以上で 60%から 70%台と多く、女性 40 歳代以上でも 50%台以上と多くなっている。一方、《関心がない》（「全く関心がない」 + 「あまり関心がない」）は男女とも 20 歳代で 30%台と多くなっている。

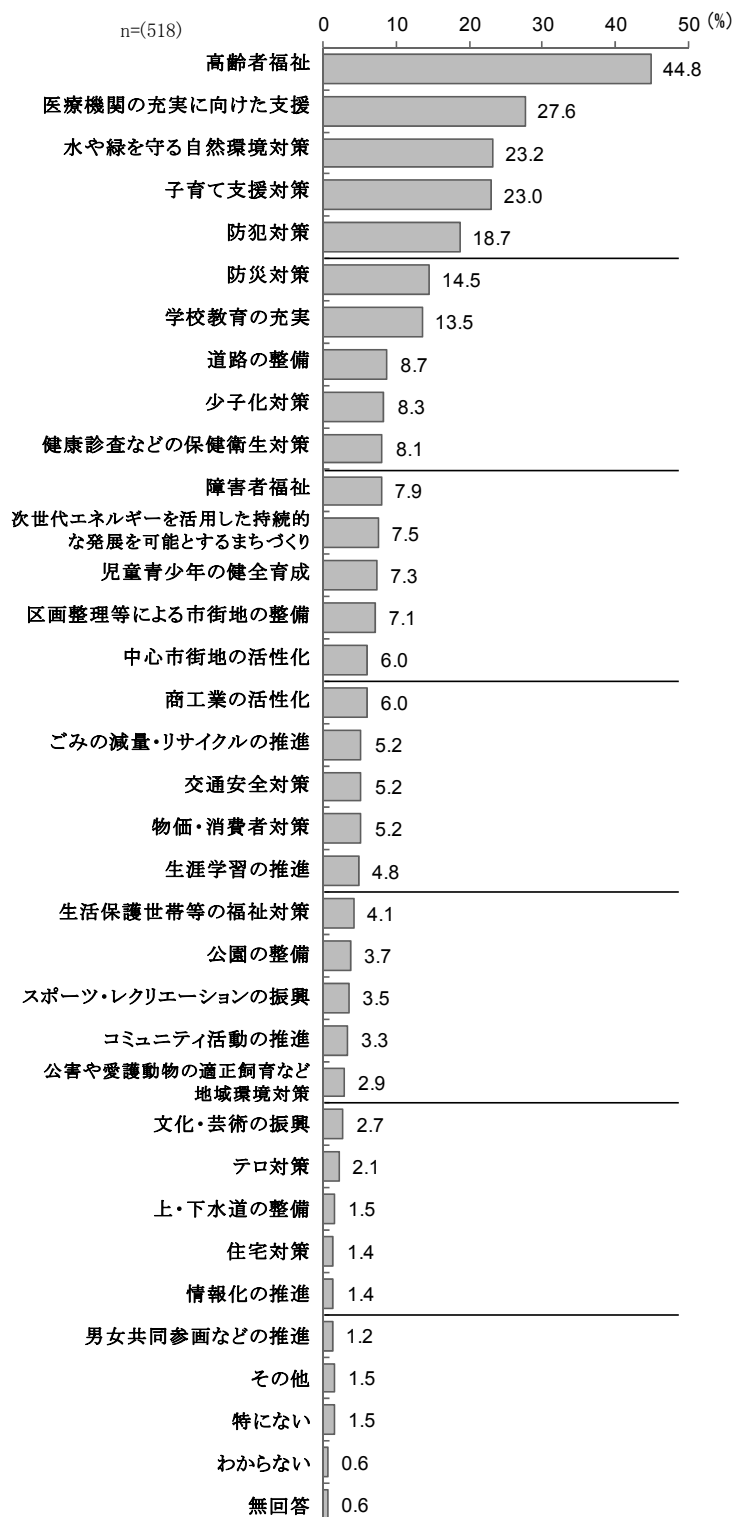
(%)							
	N	大いに関心 がある	やや関心 がある	どちらとも いえない	あまり関心 がない	全く関心 がない	無回答
【全体】	518	18.5	39.8	23.4	14.1	2.3	1.9
【性別】							
男	213	21.6	37.1	21.6	14.1	3.8	1.9
女	300	16.3	41.7	24.3	14.3	1.3	2.0
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	● 0.0	33.3	☆ 66.7	■ 0.0	0.0	0.0
男・20歳代	13	■ 7.7	● 23.1	30.8	23.1	□ 15.4	0.0
男・30歳代	24	● 0.0	□ 54.2	25.0	12.5	8.3	0.0
男・40歳代	40	15.0	32.5	25.0	20.0	5.0	2.5
男・50歳代	29	24.1	34.5	24.1	10.3	0.0	6.9
男・60歳代	51	23.5	37.3	21.6	11.8	3.9	2.0
男・70歳以上	53	○ 37.7	37.7	■ 11.3	13.2	0.0	0.0
女・20歳未満	3	□ 33.3	33.3	★ 0.0	○ 33.3	0.0	0.0
女・20歳代	22	9.1	36.4	18.2	□ 27.3	9.1	0.0
女・30歳代	33	● 3.0	42.4	33.3	15.2	6.1	0.0
女・40歳代	52	■ 7.7	46.2	25.0	15.4	0.0	5.8
女・50歳代	55	16.4	34.5	□ 34.5	14.5	0.0	0.0
女・60歳代	70	12.9	44.3	21.4	20.0	0.0	1.4
女・70歳以上	65	○ 35.4	43.1	16.9	■ 1.5	0.0	3.1

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15~20%高い、□：+10~15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15~20%低い、■：-10~15%低い

(2) 力を入れてほしい、新たに取り組んでもらいたい施策

今後、市に力を入れてほしいと思う施策、新たに取り組んでもらいたい施策としては、「高齢者福祉」が44.8%で最も多く、以下、「医療機関の充実に向けた施策」(27.6%)、「水や緑を守る自然環境対策」(23.2%)、「子育て支援対策」(23.0%)、「防犯対策」(18.7%)とつづいている。

問 7 市の施策の中で今後、あなたが市に特に力を入れてほしいと思う施策、新たに取り組んでもらいたい施策はどんなことですか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)



その他の回答内容	件数
市の売り物を（売物とは販売でない）作る （例、川越市と言えば蔵の町、青梅は宿場町、梅の特産）	1
横田基地騒音問題	1
ハード事業より、住み易いまちのためのソフト事業に力を入れてほしい	1
プール建替え	1
その他	4

上位7項目について、前回調査と比較すると「水や緑を守る自然環境対策」と、「防災対策」の増加がやや目立っている。

【上位7項目】

(%)

	高齢者福祉 （※1）	医療機関の 充実に向け た支援	水や緑を守 る自然環境 対策（※2）	子育て支援 対策	防犯対策	防災対策	学校教育の 充実
今回（H27）	44.8	27.6	23.2	23.0	18.7	14.5	13.5
前回（H22）	50.6	31.2	13.5	21.1	20.1	5.9	12.6

※1 前回の選択肢は「高齢者対策」 ※2 前回の選択肢は「環境保全対策」

上位7項目について、属性別にみたのが以下の表である。

「高齢者福祉」は男女の60歳以上や双葉町で高い要望となっている。「医療機関の充実に向けた支援」は男性30歳代で高い要望になっている。「子育て支援対策」は男性40歳代、女性40歳代以下での要望の高さが目立っている。「防犯対策」は男性50歳代、女性20歳代、富士見平・羽4000番台で多くなっている。「学校教育の充実」は女性30歳代で多くなっている。

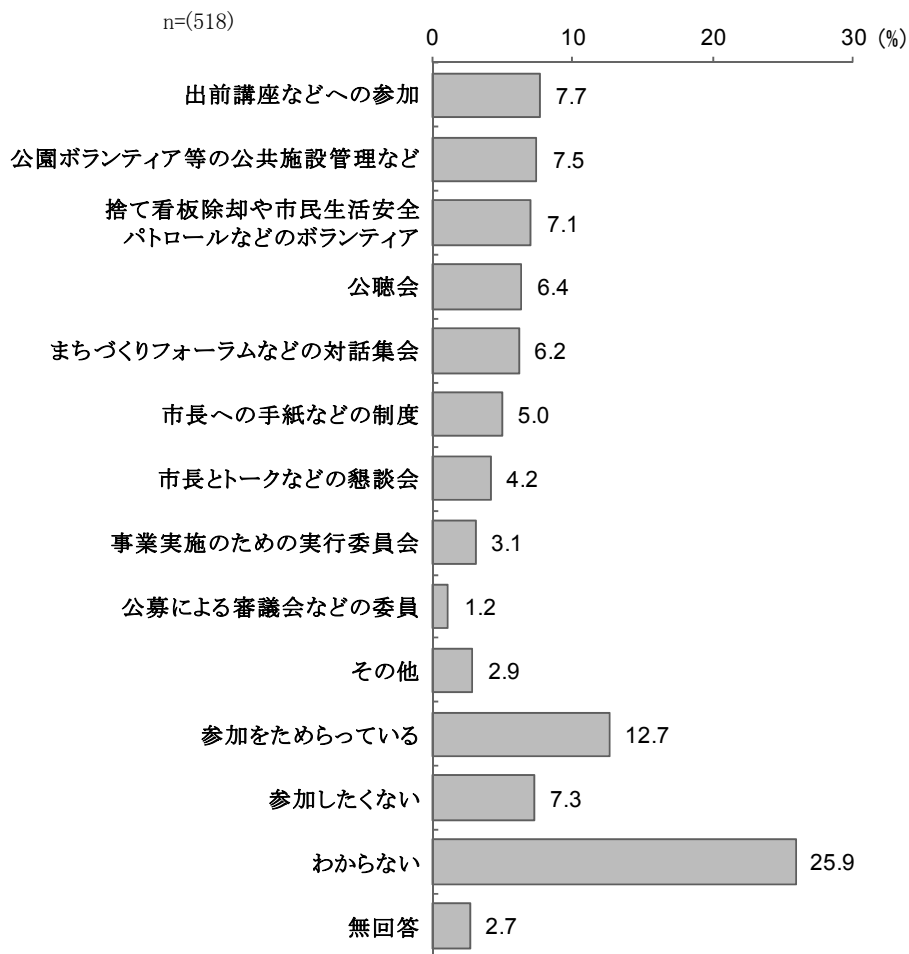
		【上位7項目】							(%)
	N	高齢者福祉	医療機関の充実に向けた支援	水や緑を守る自然環境対策	子育て支援対策	防犯対策	防災対策	学校教育の充実	
【全体】	518	44.8	27.6	23.2	23.0	18.7	14.5	13.5	
【性別】									
男	213	41.8	26.8	23.5	23.0	16.0	13.1	12.2	
女	300	46.7	28.3	23.0	23.0	20.3	15.7	14.3	
【性・年代別】									
男・20歳未満	3	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	
男・20歳代	13	★ 0.0	30.8	23.1	30.8	15.4	7.7	15.4	
男・30歳代	24	★ 8.3	○ 45.8	29.2	29.2	12.5	16.7	□ 25.0	
男・40歳代	40	★ 22.5	■ 15.0	30.0	○ 42.5	10.0	20.0	17.5	
男・50歳代	29	37.9	27.6	■ 10.3	13.8	□ 31.0	20.7	10.3	
男・60歳代	51	□ 54.9	23.5	31.4	19.6	15.7	7.8	9.8	
男・70歳以上	53	☆ 73.6	30.2	17.0	13.2	15.1	9.4	5.7	
女・20歳未満	3	■ 33.3	★ 0.0	☆ 66.7	☆ 66.7	□ 33.3	■ 0.0	○ 33.3	
女・20歳代	22	★ 9.1	31.8	18.2	○ 40.9	☆ 40.9	□ 27.3	9.1	
女・30歳代	33	★ 21.2	33.3	15.2	○ 42.4	21.2	15.2	☆ 36.4	
女・40歳代	52	★ 23.1	19.2	23.1	○ 40.4	21.2	□ 26.9	○ 28.8	
女・50歳代	55	49.1	29.1	18.2	16.4	21.8	14.5	9.1	
女・60歳代	70	○ 64.3	27.1	28.6	■ 12.9	12.9	14.3	10.0	
女・70歳以上	65	☆ 70.8	33.8	24.6	● 7.7	18.5	6.2	■ 1.5	
【地区・ブロック別】									
神明台	78	38.5	35.9	24.4	23.1	14.1	10.3	14.1	
双葉町	28	□ 57.1	17.9	14.3	21.4	10.7	■ 3.6	□ 25.0	
五ノ神	36	41.7	27.8	19.4	■ 8.3	22.2	5.6	13.9	
富士見平・羽4000番台	42	50.0	31.0	19.0	16.7	□ 31.0	19.0	■ 2.4	
緑ヶ丘	65	40.0	35.4	30.8	24.6	16.9	21.5	9.2	
栄町	43	48.8	32.6	32.6	23.3	23.3	4.7	14.0	
小作台	50	54.0	24.0	20.0	32.0	26.0	18.0	18.0	
羽西	27	37.0	25.9	18.5	25.9	18.5	22.2	14.8	
羽加美	36	47.2	■ 13.9	25.0	30.6	19.4	□ 25.0	13.9	
羽中	34	52.9	29.4	17.6	14.7	11.8	20.6	8.8	
羽東	38	52.6	23.7	18.4	26.3	18.4	7.9	18.4	
川崎	19	★ 15.8	■ 15.8	26.3	26.3	10.5	15.8	21.1	
玉川・羽600～700番台	16	37.5	25.0	31.3	● 6.3	12.5	18.8	12.5	

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(3) 市政への参加・協働意向

市政への参加・協働意向は、「出前講座などへの参加」が7.7%、「公園ボランティア等の公共施設管理など」が7.5%、「捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア」が7.1%となっており、参加意向全体としては51.3%と半数強にとどまっている。「参加をためらっている」(12.7%)、「わからない」(25.9%)とする人が少なくない。

問8 市では、「市政への市民参画・市民との協働」を進めています。あなたは、どのような形で市政に参加・協働したいと思いますか。次の中から選んでください。(〇は1つ)



その他の回答内容	件数
ホームページやパソコンを使っでの意見や提案	3
定年後に参加	2
特技を生かしたもの	1
「地域のために」町内会活動に協力	1
自宅でできる活動	1
アンケートでの参加	1
その他	7

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

(%)

	出前講座などへの参加	公園ボランティア等の公共施設管理など	捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア	公聴会	まちづくりフォーラムなどの対話集会	市長への手紙などの制度	市長とトークなどの懇談会	事業実施のための実行委員会	公募による審議会などの委員
今回 (H27)	7.7	7.5	7.1	6.4	6.2	5.0	4.2	3.1	1.2
前回 (H22)	5.5	8.5	6.5	9.1	6.3	5.5	6.5	1.3	2.2

	その他	参加をためらっている	参加したくない	わからない	無回答
今回 (H27)	2.9	12.7	7.3	25.9	2.7
前回 (H22)	1.7	12.0	6.7	25.3	3.0

属性別にみると、あまり大きな差はみられないが、「事業実施の実行委員会」は男性 60 歳代でやや多くなっている。なお、「わからない」は男女とも 30 歳代で多くなっている。

(%)

	N	出前講座 などへの 参加	公園ボラン ティア等の 公共施設 管理など	捨て看板 除却や市 民生活安 全パトロー ルなどの ボランティ ア	公聴会	まちづくり フォーラム などの対 話集会	市長への 手紙など の制度	市長とト ークなど の懇談会	事業実施 のための 実行委員 会	公募による 審議会な どの委員
【全体】	518	7.7	7.5	7.1	6.4	6.2	5.0	4.2	3.1	1.2
【性別】										
男	213	6.6	9.9	11.7	8.5	8.0	6.1	2.8	4.7	1.9
女	300	8.7	6.0	4.0	4.7	5.0	4.0	5.3	1.7	0.7
【性・年代別】										
男・20歳未満	3	0.0	☆ 33.3	0.0	☆ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	13	7.7	0.0	○ 23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	□ 15.4	0.0
男・30歳代	24	0.0	4.2	4.2	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3
男・40歳代	40	10.0	10.0	7.5	10.0	7.5	7.5	0.0	2.5	2.5
男・50歳代	29	6.9	3.4	6.9	6.9	10.3	10.3	6.9	0.0	0.0
男・60歳代	51	5.9	13.7	15.7	3.9	3.9	3.9	3.9	□ 13.7	0.0
男・70歳以上	53	7.5	13.2	15.1	13.2	13.2	5.7	3.8	0.0	1.9
女・20歳未満	3	0.0	☆ 33.3	0.0	0.0	0.0	☆ 33.3	0.0	0.0	0.0
女・20歳代	22	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	4.5	4.5	0.0	4.5
女・30歳代	33	9.1	6.1	9.1	9.1	0.0	12.1	3.0	0.0	0.0
女・40歳代	52	7.7	1.9	7.7	1.9	1.9	1.9	3.8	5.8	0.0
女・50歳代	55	10.9	5.5	3.6	5.5	3.6	3.6	1.8	0.0	1.8
女・60歳代	70	8.6	7.1	2.9	4.3	5.7	2.9	5.7	1.4	0.0
女・70歳以上	65	7.7	6.2	0.0	4.6	9.2	1.5	10.8	1.5	0.0

	N	その他	参加をた めらってい る	参加した くない	わから ない	無回答
【全体】	518	2.9	12.7	7.3	25.9	2.7
【性別】						
男	213	1.4	9.4	6.6	20.7	1.9
女	300	4.0	15.3	8.0	29.3	3.3
【性・年代別】						
男・20歳未満	3	0.0	■ 0.0	0.0	33.3	0.0
男・20歳代	13	0.0	■ 0.0	○ 23.1	30.8	0.0
男・30歳代	24	4.2	8.3	4.2	○ 41.7	0.0
男・40歳代	40	0.0	7.5	12.5	22.5	0.0
男・50歳代	29	3.4	13.8	3.4	20.7	6.9
男・60歳代	51	2.0	9.8	3.9	17.6	2.0
男・70歳以上	53	0.0	11.3	3.8	● 9.4	1.9
女・20歳未満	3	0.0	■ 0.0	0.0	33.3	0.0
女・20歳代	22	0.0	18.2	9.1	22.7	0.0
女・30歳代	33	3.0	3.0	9.1	□ 36.4	0.0
女・40歳代	52	5.8	13.5	7.7	34.6	5.8
女・50歳代	55	9.1	14.5	10.9	27.3	1.8
女・60歳代	70	4.3	17.1	7.1	27.1	5.7
女・70歳以上	65	0.0	21.5	6.2	27.7	3.1

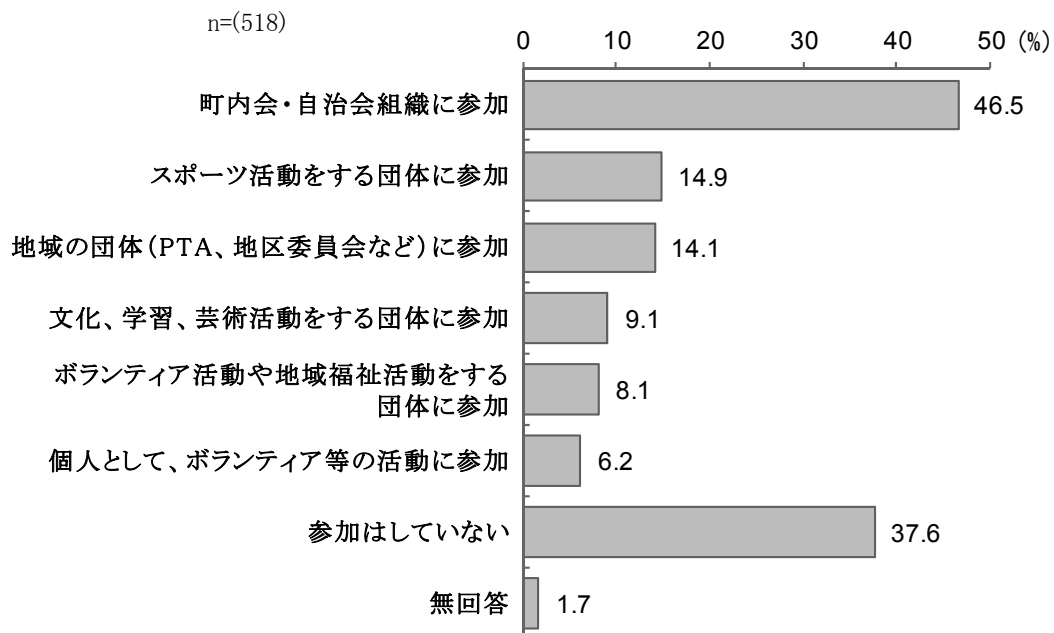
全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

5. 市民活動

(1) 市民活動への参加状況

市民活動への参加状況を見ると、「町内会・自治会組織に参加」が46.5%で最も多く、以下、「スポーツ活動をする団体に参加」(14.9%)、「地域の団体(PTA、地区委員会など)に参加」(14.1%)が10%台となっている。一方、「参加はしていない」とする人も37.6%と4割近くを占めている。

問9 あなたは、次のような市民活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



属性別にみると、「町内会・自治会組織に参加」は男性 50 歳代以上、女性 40 歳代以上ではほぼ半数以上があげている。「スポーツ活動をする団体に参加」は男性 40 歳代では 25.0%とやや多くなっている。「地域の団体（PTA、地区委員会など）に参加」は女性 30 歳代～40 歳代で多くなっている。「参加はしていない」は男性 30 歳代～40 歳代、女性 20 歳代では半数を超えて多くなっており、地区・ブロックでは五ノ神、富士見平・羽 4000 番台、栄町、小作台、居住年数では 3 年未満と 5 年以上 10 年未満が多くなっている。

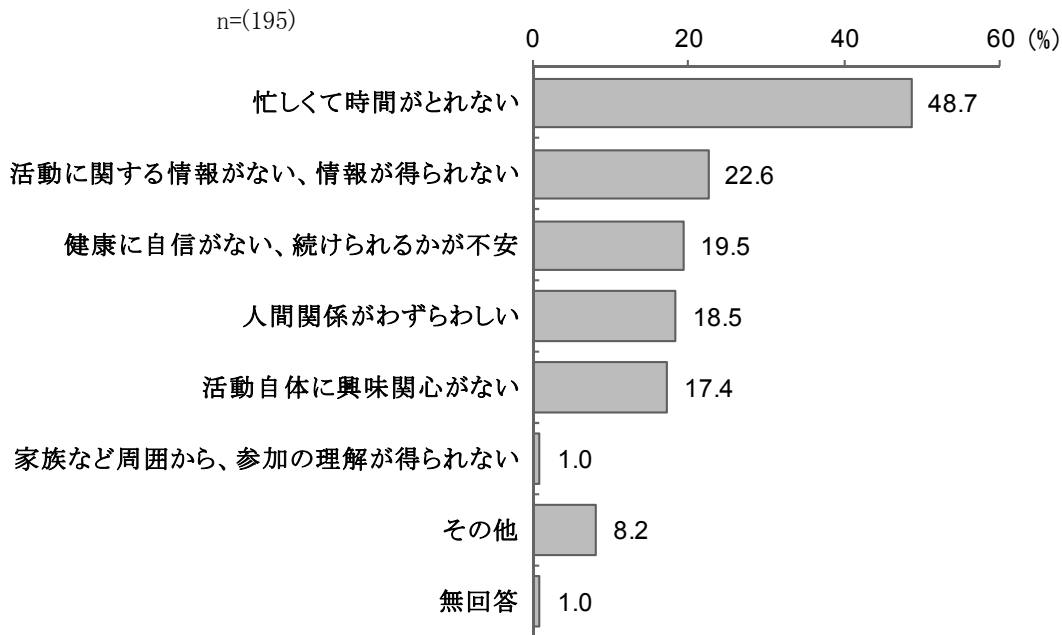
	N	町内会・自治会組織に参加	スポーツ活動をする団体に参加	地域の団体(PTA、地区委員会など)に参加	文化、学習、芸術活動をする団体に参加	ボランティア活動や地域福祉活動をする団体に参加	個人として、ボランティア等の活動に参加	参加はしていない	無回答	(%)
【全体】	518	46.5	14.9	14.1	9.1	8.1	6.2	37.6	1.7	
【性別】										
男	213	45.5	18.8	9.9	5.2	8.0	6.1	39.4	1.9	
女	300	47.3	12.3	17.0	11.7	8.3	6.0	36.3	1.7	
【性・年代別】										
男・20歳未満	3	★ 0.0	○ 33.3	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 66.7	0.0	
男・20歳代	13	● 30.8	☆ 38.5	15.4	0.0	7.7	7.7	38.5	0.0	
男・30歳代	24	★ 20.8	12.5	4.2	0.0	0.0	8.3	☆ 62.5	4.2	
男・40歳代	40	● 30.0	□ 25.0	10.0	2.5	2.5	0.0	□ 50.0	2.5	
男・50歳代	29	48.3	17.2	■ 3.4	3.4	3.4	6.9	41.4	0.0	
男・60歳代	51	52.9	15.7	17.6	5.9	11.8	5.9	31.4	3.9	
男・70歳以上	53	○ 66.0	15.1	7.5	11.3	15.1	9.4	■ 26.4	0.0	
女・20歳未満	3	■ 33.3	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 33.3	33.3	0.0	
女・20歳代	22	★ 4.5	■ 0.0	9.1	4.5	4.5	13.6	☆ 68.2	0.0	
女・30歳代	33	■ 33.3	9.1	○ 30.3	3.0	0.0	3.0	45.5	3.0	
女・40歳代	52	51.9	9.6	☆ 42.3	9.6	1.9	5.8	■ 25.0	0.0	
女・50歳代	55	50.9	12.7	18.2	5.5	10.9	5.5	32.7	1.8	
女・60歳代	70	54.3	18.6	5.7	18.6	10.0	2.9	31.4	2.9	
女・70歳以上	65	55.4	13.8	4.6	18.5	15.4	7.7	38.5	1.5	
【地区・ブロック別】										
神明台	78	39.7	15.4	11.5	6.4	9.0	6.4	33.3	2.6	
双葉町	28	42.9	14.3	7.1	14.3	14.3	□ 17.9	39.3	7.1	
五ノ神	36	● 30.6	11.1	11.1	0.0	5.6	8.3	○ 52.8	2.8	
富士見平・羽4000番台	42	40.5	11.9	7.1	14.3	0.0	0.0	□ 52.4	0.0	
緑ヶ丘	65	50.8	18.5	12.3	7.7	9.2	9.2	30.8	3.1	
栄町	43	39.5	9.3	11.6	7.0	7.0	0.0	□ 51.2	0.0	
小作台	50	■ 32.0	10.0	14.0	8.0	10.0	4.0	□ 48.0	0.0	
羽西	27	□ 59.3	□ 25.9	18.5	11.1	11.1	3.7	■ 25.9	7.4	
羽加美	36	□ 58.3	16.7	11.1	5.6	11.1	2.8	33.3	0.0	
羽中	34	☆ 70.6	□ 26.5	11.8	□ 20.6	5.9	8.8	★ 17.6	0.0	
羽東	38	47.4	15.8	21.1	10.5	7.9	7.9	39.5	0.0	
川崎	19	○ 63.2	5.3	☆ 47.4	10.5	10.5	0.0	■ 26.3	0.0	
玉川・羽600～700番台	16	☆ 81.3	12.5	□ 25.0	12.5	6.3	6.3	★ 12.5	0.0	
【居住年数別】										
3年未満	26	★ 15.4	7.7	7.7	3.8	0.0	11.5	☆ 65.4	0.0	
3年以上5年未満	23	43.5	8.7	21.7	0.0	0.0	8.7	30.4	0.0	
5年以上10年未満	43	★ 20.9	14.0	16.3	2.3	2.3	2.3	○ 55.8	0.0	
10年以上20年未満	93	37.6	15.1	20.4	7.5	2.2	4.3	40.9	1.1	
20年以上	328	55.8	16.2	11.9	11.6	11.9	6.1	32.3	2.4	

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(2) 市民活動への不参加理由

市民活動に参加していない主な理由としては、「忙しくて時間がとれない」が48.7%と半数近くを占めている。以下、「活動に関する情報がない、情報が得られない」(22.6%)、「健康に自信がない、続けられるかが不安」(19.5%)、「人間関係がわずらわしい」(18.5%)、「活動自体に興味関心がない」(17.4%)が20%前後でつづいている。

問10 前問で、参加していないとお答えの方に、その主な理由を次の中から選んでください。(〇は2つまで)

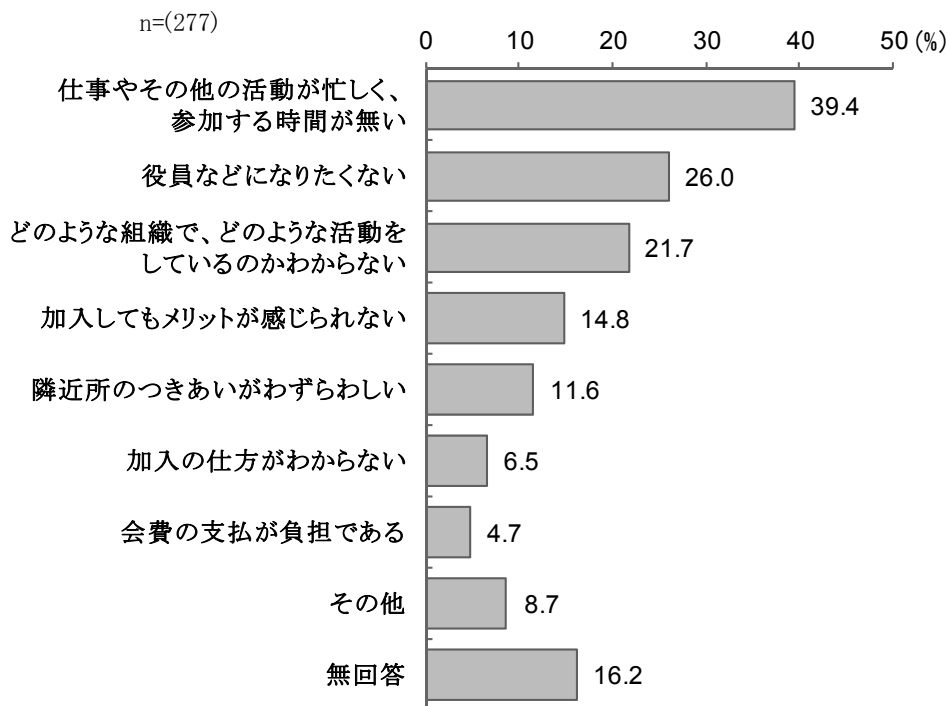


その他の回答内容	件数
活動できる時間がない。時間があわない。	7
身体が不自由	4
市外で活動しているため	3
高齢のため	2
参加方法がわからない	2
これから少し参加していきたい	2
活動に不満がある	1
参加しようと思う活動がない	1

(3) 町内会・自治会組織への不参加理由

町内会・自治会組織に参加していない主な理由としては、「仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間が無い」をあげる人が39.4%で最も多く、以下、「役員などになりたくない」(26.0%)、「どのような組織で、どのような活動をしているのかわからない」(21.7%)が20%台でつづいている。

問 11 町内会・自治会組織に参加していない人にお聞きします。参加していない主な理由を次の中から選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
参加できる状態でない。参加が負担である。	5
体の調子が悪いため	5
さそわれなかった。忘れられていた。	3
周りが加入していない	3
活動している様子が見えない。参加出来るものがない。	2
不愉快な思いをした。過去にトラブルがあった。	2
アパートで一人暮らしのため	1
家の他の者が参加している	1
いずれ転居するため	1
寄り合い場所になっているため	1
その他	3

居住年数別にみると、5年未満では「どのような組織で、どのような活動をしているのかわからない」が半数近くと多くなっている。

	N	仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間が無い	役員などになりたくない	どのような組織で、どのような活動をしているのかわからない	加入してもメリットが感じられない	隣近所につきあいがわずらわしい	加入の仕方がわからない	会費の支払が負担である	その他	無回答	(%)
【問9で「町内会・自治会」に回答しなかった方】	277	39.4	26.0	21.7	14.8	11.6	6.5	4.7	8.7	16.2	
【居住年数別】											
3年未満	22	40.9	22.7	☆ 45.5	22.7	18.2	4.5	4.5	9.1	● 0.0	
3年以上5年未満	13	46.2	● 7.7	☆ 46.2	15.4	7.7	○ 23.1	7.7	7.7	● 0.0	
5年以上10年未満	34	□ 50.0	26.5	20.6	11.8	5.9	2.9	11.8	11.8	8.8	
10年以上20年未満	58	□ 50.0	29.3	19.0	13.8	17.2	10.3	0.0	3.4	12.1	
20年以上	145	32.4	26.2	17.9	15.2	9.7	4.8	4.1	10.3	22.8	

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

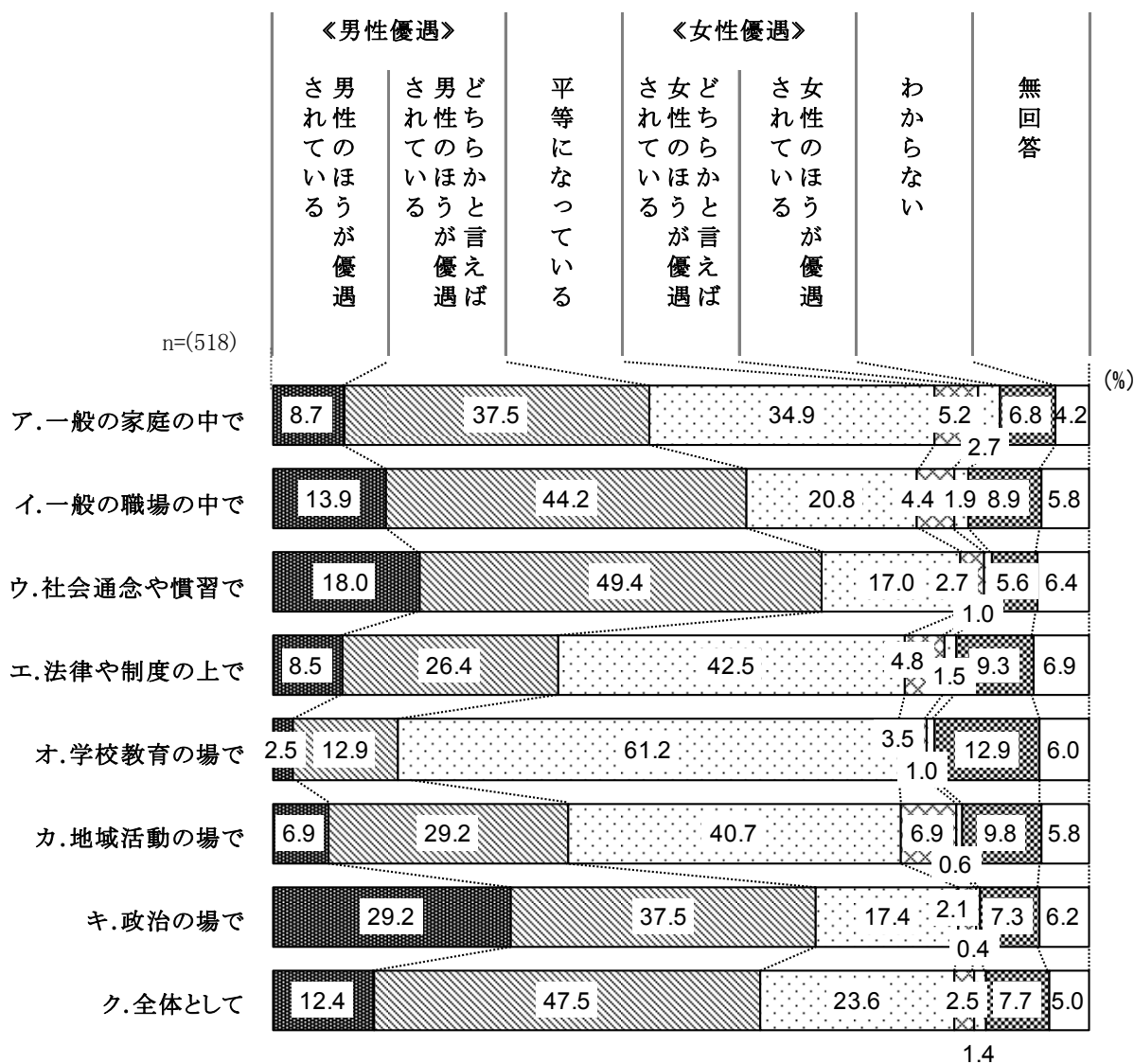
6. 男女共同参画

(1) 各分野における男女平等感

各分野における男女の平等感について聞いた。「平等になっている」は、“学校教育の場で”が61.2%と多く、ついで“法律や制度の上で”(42.5%)、“地域活動の場で”(40.7%)が40%台となっている。平等感が低いのは、“社会通念や慣習で”や“政治の場で”であり20%を切っている。

《男性優遇》(「男性の方が優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)は、“社会通念や慣習で”(67.4%)、“政治の場で”(66.7%)が60%台後半、“全体として”(59.9%)、“一般の職場の中で”(58.1%)についても60%近くとなっている。一方、《女性優遇》はいずれも10%以下と少ない。

問 12 あなたは、次のア～クにあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの感じ方に最も近いものを選び、○をつけてください。(○は1つずつ)



過去の調査と比較しても、大きな差はみられない。

(%)

	《男性のほうが優遇されている》			平等になっている		
	今回 (H27)	前回 (H22)	前々回 (H17)	今回 (H27)	前回 (H22)	前々回 (H17)
ア. 一般の家庭の中で	46.2	43.3	46.4	34.9	36.2	34.6
イ. 一般の職場の中で	58.1	56.4	58.4	20.8	19.8	20.2
ウ. 社会通念や慣習で	67.4	64.6	64.8	17.0	17.7	19.5
エ. 法律や制度の上で	34.9	36.2	38.2	42.5	42.1	39.5
オ. 学校教育の場で	15.4	15.3	16.2	61.2	60.4	38.9
カ. 地域活動の場で	36.1	36.2	36.9	40.7	42.1	38.9
キ. 政治の場で	66.7	61.5	57.6	17.4	21.4	23.7
ク. 全体として	59.9	57.3	55.8	23.6	25.5	25.2

“全体として”を性別にみると、「平等になっている」は男性の35.2%に対して、女性では15.7%にとどまり、男女の認識の違いがみられる。

性・年代別にみると、《男性優遇》はいずれの年代でも男性よりも女性で多く、男女の認識のギャップが大きくなっている。

【全体として】

(%)

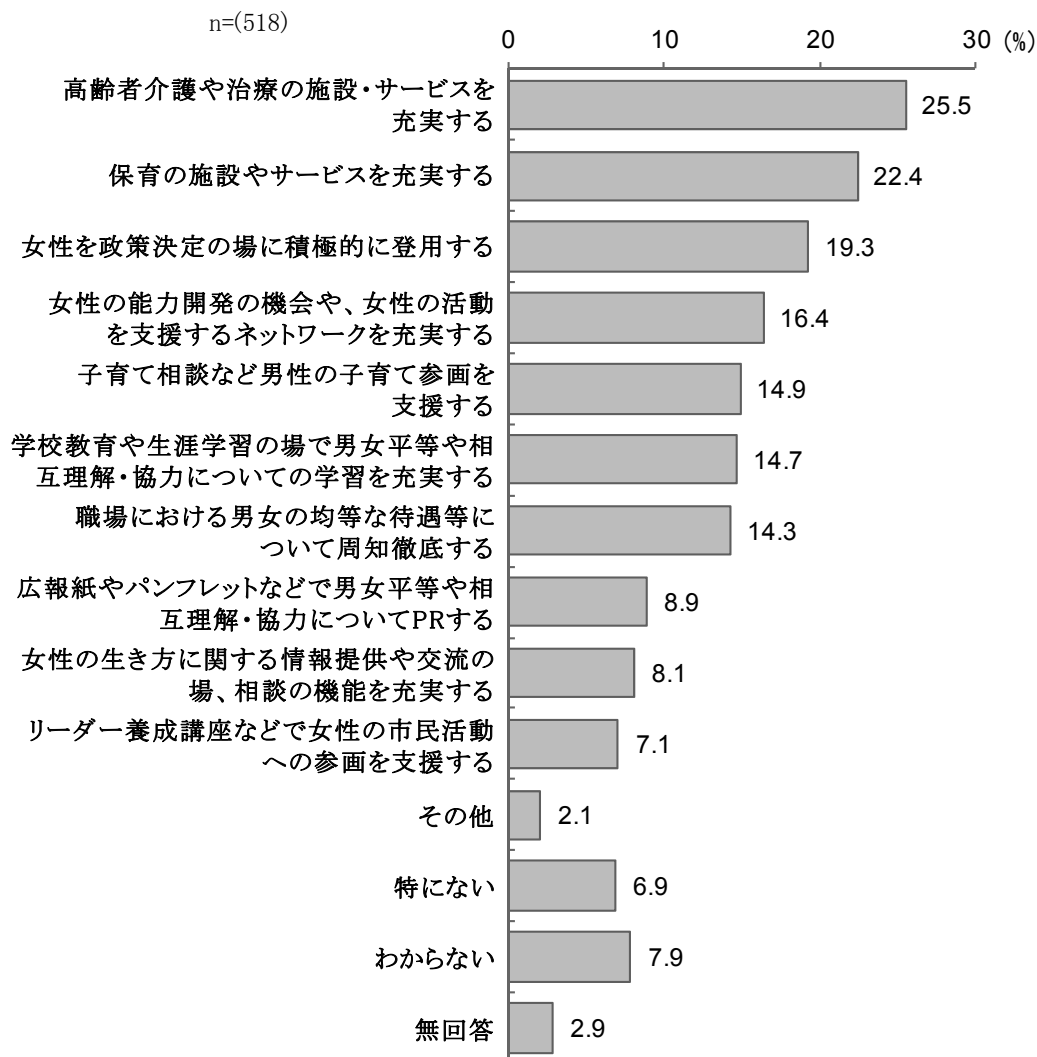
	N	男性のほう が優遇され ている	どちらかと 言えば男性 のほうが優 遇されてい る	平等になっ ている	どちらかと 言えば女性 のほうが優 遇されてい る	女性のほう が優遇され ている	わからない	無回答
【全体】	518	12.4	47.5	23.6	2.5	1.4	7.7	5.0
【性別】								
男	213	6.6	42.7	□ 35.2	5.2	1.9	4.7	3.8
女	300	16.3	50.7	15.7	0.7	1.0	9.7	6.0
【性・年代別】								
男・20歳未満	3	■ 0.0	■ 33.3	☆ 66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	13	15.4	★ 15.4	☆ 46.2	0.0	7.7	15.4	0.0
男・30歳代	24	■ 0.0	45.8	29.2	4.2	4.2	12.5	4.2
男・40歳代	40	7.5	42.5	32.5	10.0	0.0	5.0	2.5
男・50歳代	29	6.9	51.7	□ 37.9	0.0	3.4	0.0	0.0
男・60歳代	51	9.8	47.1	25.5	7.8	2.0	0.0	7.8
男・70歳以上	53	3.8	39.6	○ 43.4	3.8	0.0	5.7	3.8
女・20歳未満	3	■ 0.0	○ 66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
女・20歳代	22	18.2	○ 63.6	■ 13.6	0.0	4.5	0.0	0.0
女・30歳代	33	12.1	□ 60.6	■ 12.1	3.0	3.0	6.1	3.0
女・40歳代	52	□ 23.1	51.9	■ 9.6	1.9	0.0	9.6	3.8
女・50歳代	55	12.7	50.9	21.8	0.0	0.0	12.7	1.8
女・60歳代	70	17.1	51.4	17.1	0.0	0.0	7.1	7.1
女・70歳以上	65	15.4	38.5	15.4	0.0	1.5	15.4	13.8

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15~20%高い、□：+10~15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15~20%低い、■：-10~15%低い

(2) 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと

男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこととしては、「高齢者介護や治療の施設・サービスを充実する」(25.5%)、「保育の施設やサービスを充実する」(22.4%)が20%台、以下、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」(19.3%)、「女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する」(16.4%)、「子育て相談など男性の子育て参画を支援する」(14.9%)、「学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する」(14.7%)、「職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する」(14.3%)、がつづいており、多様で多岐にわたる施策が求められている。

問 13 羽村市は男女共同参画都市を宣言し、男女共同参画社会を形成するために様々な施策を実施していますが、今後さらにどのようなことに力を入れていくことが必要だと思いますか。次の中から選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
市政（市議会含む）に女性の視点が必要	2
子育て後の女性の復職・再就職支援	2
年配者の男尊女卑的意識の改善を自治会や商工会を通じてPRする	1
その他	6

性・年代別にみると、「高齢者介護や治療の施設・サービスを充実する」は女性 70 歳以上で 47.7%と多くなっている。「保育の施設やサービスを充実する」は女性 40 歳代以下で多くなっている。「女性を政策決定の場に積極的に登用する」は男性 60 歳代以上、女性 20 歳代で 30%近くと多くなっている。「職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する」は男性 40 歳代で多くなっている。

【上位7項目】

(%)

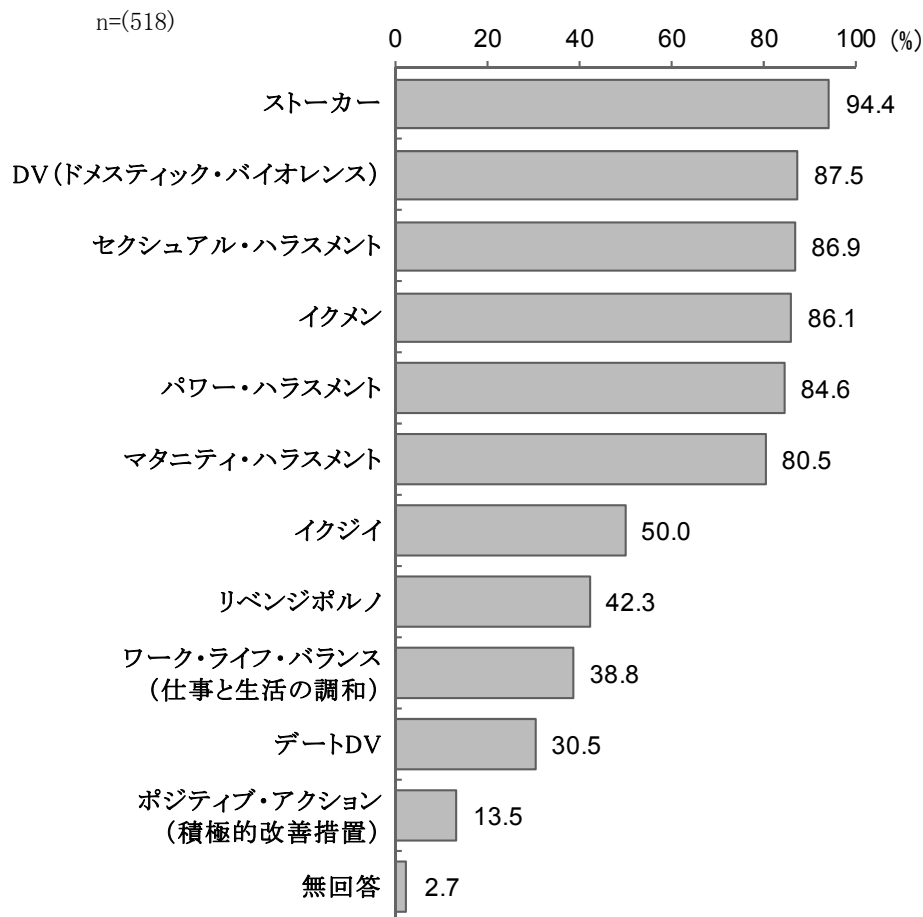
	N	高齢者介護 や治療の施設・サービス を充実する	保育の施設 やサービスを 充実する	女性を政策 決定の場に 積極的に登 用する	女性の能力 開発の機会 や、女性の 活動を支援 するネット ワークを充 実する	子育て相談 など男性の 子育て参画 を支援する	学校教育や 生涯学習の 場で男女平 等や相互理 解・協力に ついての学 習を充実す る	職場におけ る男女の均 等な待遇等 について周 知徹底する
【全体】	518	25.5	22.4	19.3	16.4	14.9	14.7	14.3
【性別】								
男	213	22.1	18.3	23.9	17.4	14.6	15.5	17.4
女	300	27.7	25.7	16.3	15.3	14.7	14.0	12.0
【性・年代別】								
男・20歳未満	3	★ 0.0	□ 33.3	● 0.0	● 0.0	○ 33.3	■ 0.0	☆ 66.7
男・20歳代	13	★ 0.0	15.4	15.4	□ 30.8	15.4	15.4	15.4
男・30歳代	24	■ 12.5	29.2	20.8	16.7	□ 25.0	■ 4.2	■ 4.2
男・40歳代	40	■ 12.5	17.5	20.0	12.5	10.0	15.0	○ 30.0
男・50歳代	29	24.1	17.2	20.7	17.2	24.1	17.2	13.8
男・60歳代	51	29.4	17.6	□ 29.4	17.6	11.8	15.7	15.7
男・70歳以上	53	32.1	15.1	28.3	18.9	9.4	20.8	15.1
女・20歳未満	3	☆ 66.7	☆ 66.7	● 0.0	● 0.0	☆ 66.7	■ 0.0	■ 0.0
女・20歳代	22	■ 13.6	☆ 50.0	27.3	13.6	□ 27.3	13.6	18.2
女・30歳代	33	21.2	☆ 42.4	12.1	15.2	15.2	15.2	12.1
女・40歳代	52	21.2	□ 34.6	17.3	19.2	17.3	13.5	13.5
女・50歳代	55	20.0	23.6	14.5	21.8	18.2	10.9	5.5
女・60歳代	70	25.7	20.0	20.0	10.0	12.9	20.0	20.0
女・70歳以上	65	☆ 47.7	■ 7.7	12.3	13.8	■ 4.6	10.8	6.2

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15~20%高い、□：+10~15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15~20%低い、■：-10~15%低い

(3) 男女共同参画に関する用語の認知度

男女共同参画に関する用語の認知状況をみると、「ストーカー」(94.4%)、「DV(ドメスティック・バイオレンス)」(87.5%)、「セクシュアル・ハラスメント」(86.9%)、「イクメン」(86.1%)、「パワー・ハラスメント」(84.6%)、「マタニティ・ハラスメント」(80.5%)の6つは8割以上の人が見たり聞いたりしたことがあるとしている。なお、男女共同参画社会のキーワードである「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」は38.8%にとどまっている。

問 14 あなたは、次に掲げる言葉を見たり聞いたりした事がありますか。あるものについて○をつけてください。(○はいくつでも)



性・年代別にみると、上位6つについてはおおむね各年代層とも高い認知度となっている。「イクジイ」は男性70歳以上、女性60歳以上では60%を超えている。「リベンジポルノ」は男性30歳代以下、女性20歳代では60%を超えている。「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」は男性50歳代、女性20歳代以下と40歳代で高くなっている。

(%)

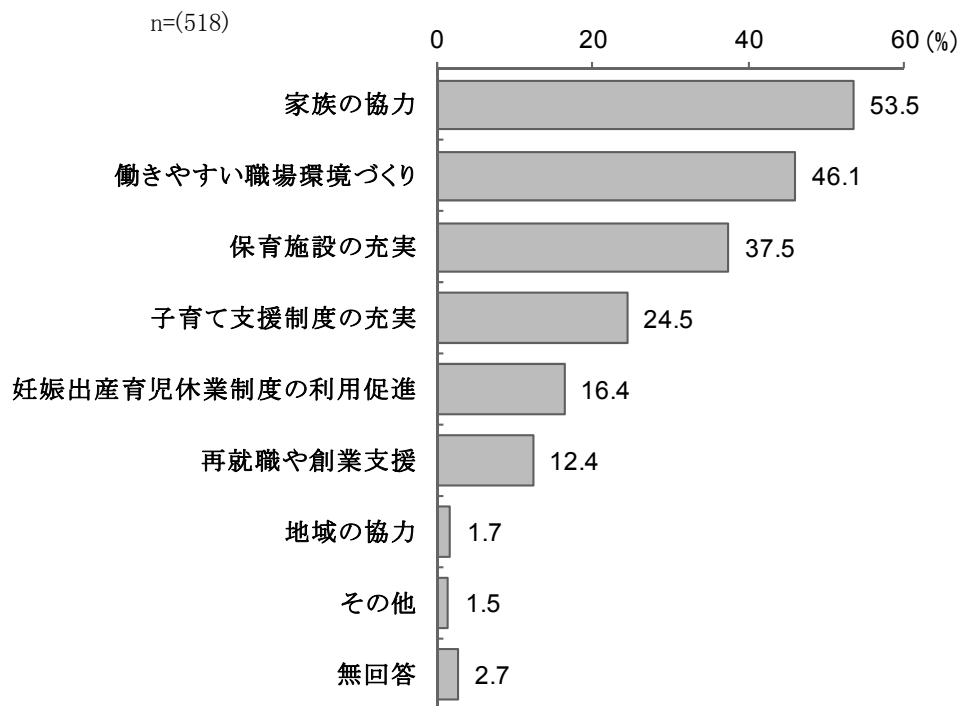
	N	ストーカー	DV(ドメスティック・バイオレンス)	セクシュアル・ハラスメント	イクメン	パワー・ハラスメント	マタニティ・ハラスメント	イクジイ	リベンジポルノ	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	デートDV	ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	無回答
【全体】	518	94.4	87.5	86.9	86.1	84.6	80.5	50.0	42.3	38.8	30.5	13.5	2.7
【性別】													
男	213	92.0	83.6	86.4	80.8	84.5	74.2	41.3	46.9	37.6	21.1	10.8	3.3
女	300	96.0	90.0	87.0	90.0	84.7	85.0	56.7	38.7	39.3	37.0	15.0	2.3
【性・年代別】													
男・20歳未満	3	100.0	□ 100.0	□ 100.0	□ 100.0	○ 100.0	■ 66.7	● 33.3	☆ 100.0	★ 0.0	33.3	■ 0.0	0.0
男・20歳代	13	84.6	■ 76.9	84.6	● 69.2	84.6	● 61.5	★ 23.1	☆ 69.2	30.8	38.5	7.7	0.0
男・30歳代	24	87.5	87.5	91.7	79.2	83.3	83.3	41.7	☆ 62.5	33.3	33.3	8.3	4.2
男・40歳代	40	92.5	92.5	90.0	87.5	82.5	75.0	★ 27.5	□ 55.0	45.0	27.5	10.0	2.5
男・50歳代	29	93.1	86.2	86.2	86.2	□ 96.6	72.4	★ 24.1	□ 55.2	☆ 62.1	24.1	□ 24.1	3.4
男・60歳代	51	90.2	78.4	90.2	76.5	84.3	76.5	43.1	41.2	■ 25.5	● 13.7	5.9	3.9
男・70歳以上	53	96.2	79.2	77.4	79.2	79.2	71.7	□ 64.2	● 26.4	35.8	● 11.3	11.3	3.8
女・20歳未満	3	100.0	□ 100.0	□ 100.0	□ 100.0	○ 100.0	○ 100.0	● 33.3	33.3	☆ 66.7	☆ 66.7	☆ 66.7	0.0
女・20歳代	22	100.0	□ 100.0	95.5	90.9	90.9	86.4	★ 27.3	☆ 68.2	☆ 59.1	○ 45.5	13.6	0.0
女・30歳代	33	97.0	93.9	87.9	□ 100.0	93.9	○ 97.0	■ 39.4	51.5	33.3	○ 45.5	■ 3.0	0.0
女・40歳代	52	98.1	□ 98.1	92.3	94.2	92.3	90.4	48.1	50.0	○ 57.7	○ 50.0	17.3	0.0
女・50歳代	55	94.5	90.9	85.5	89.1	92.7	85.5	54.5	36.4	29.1	32.7	12.7	1.8
女・60歳代	70	94.3	91.4	88.6	94.3	88.6	87.1	☆ 72.9	■ 30.0	37.1	38.6	14.3	4.3
女・70歳以上	65	95.4	■ 75.4	78.5	76.9	★ 60.0	70.8	○ 67.7	● 24.6	30.8	■ 20.0	20.0	4.6

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15~20%高い、□：+10~15%高い
★：-20%以上低い、●：-15~20%低い、■：-10~15%低い

(4) 女性が職業を持ち続けるために必要なこと

女性が職業を持ち続けるために必要なこととしては、「家族の協力」が 53.5%で最も多く、ついで、「働きやすい職場環境づくり」が 46.1%と多くなっている。以下、「保育施設の充実」(37.5%)、「子育て支援制度の充実」(24.5%) がつづいている。

問 15 女性が職業を持ち続けるために必要なことについて、次の中から選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
病児病後児の保育の充実	2
学童保育の充実	1
子どもが小学生になっても受けられる支援制度	1
夫の育児休業充実	1
扶養控除見直し	1
その他	2

性・年代別にみると、「家族の協力」は女性 40 歳代と 70 歳代で多くなっている。「働きやすい職場環境づくり」は男性 30 歳代、女性 40 歳代で多くなっている。「保育施設の充実」は男性 50 歳代に多くなっている。

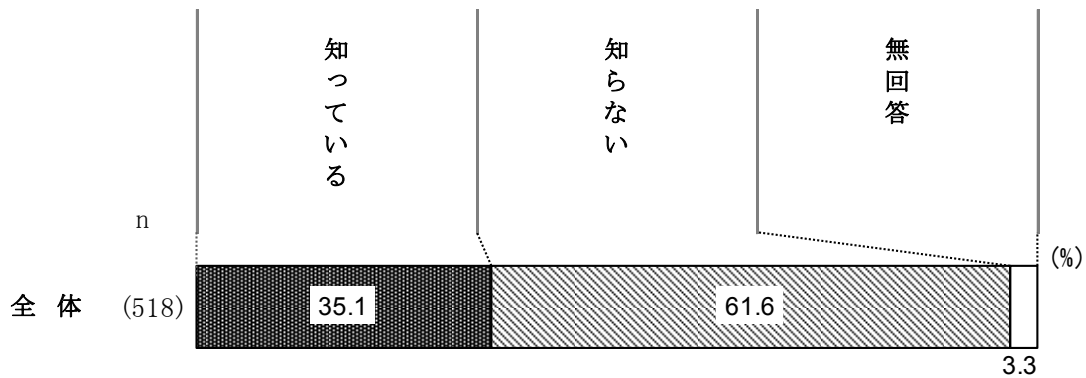
(%)										
	N	家族の協力	働きやすい職場環境づくり	保育施設の充実	子育て支援制度の充実	妊娠出産育児休業制度の利用促進	再就職や創業支援	地域の協力	その他	無回答
【全体】	518	53.5	46.1	37.5	24.5	16.4	12.4	1.7	1.5	2.7
【性別】										
男	213	48.8	40.4	38.0	28.2	19.7	11.3	1.9	1.4	3.8
女	300	56.7	50.0	37.7	21.3	14.3	13.3	1.7	1.3	2.0
【性・年代別】										
男・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	33.3	○ 33.3	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	13	● 38.5	○ 61.5	30.8	15.4	□ 30.8	15.4	7.7	0.0	0.0
男・30歳代	24	■ 41.7	☆ 66.7	★ 16.7	29.2	25.0	8.3	0.0	4.2	0.0
男・40歳代	40	57.5	42.5	30.0	30.0	12.5	12.5	0.0	5.0	2.5
男・50歳代	29	48.3	37.9	○ 55.2	■ 13.8	20.7	13.8	3.4	0.0	3.4
男・60歳代	51	■ 43.1	■ 33.3	39.2	□ 35.3	25.5	7.8	2.0	0.0	5.9
男・70歳以上	53	50.9	■ 32.1	47.2	30.2	13.2	13.2	1.9	0.0	5.7
女・20歳未満	3	★ 0.0	☆ 66.7	33.3	33.3	○ 33.3	☆ 33.3	0.0	0.0	0.0
女・20歳代	22	★ 31.8	45.5	□ 50.0	22.7	☆ 45.5	4.5	0.0	0.0	0.0
女・30歳代	33	54.5	48.5	36.4	21.2	15.2	6.1	3.0	6.1	0.0
女・40歳代	52	□ 65.4	○ 65.4	36.5	■ 11.5	7.7	19.2	1.9	1.9	0.0
女・50歳代	55	60.0	45.5	40.0	23.6	10.9	14.5	0.0	0.0	1.8
女・60歳代	70	51.4	41.4	45.7	25.7	12.9	14.3	4.3	1.4	4.3
女・70歳以上	65	□ 64.6	52.3	■ 24.6	21.5	12.3	12.3	0.0	0.0	3.1

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(5) 配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度

配偶者からの暴力を相談できる窓口の認知度は、「知っている」が35.1%にとどまり、「知らない」が61.6%と多くなっている。

問 16 あなたは、配偶者からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。どちらか1つを選んでください。



前回調査と比較すると、「知っている」が 10.9 ポイント少なくなっている。

	割合 (%)		
	知っている	知らない	無回答
今回 (H27)	35.1	61.6	3.3
前回 (H22)	46.0	48.8	5.2

性別にみると、「知っている」は女性 39.0%に対し、男性は 29.6%と少なくなっている。
性・年代別にみると、「知らない」は男性 30 歳代で 79.2%とほぼ 8 割を占めている。

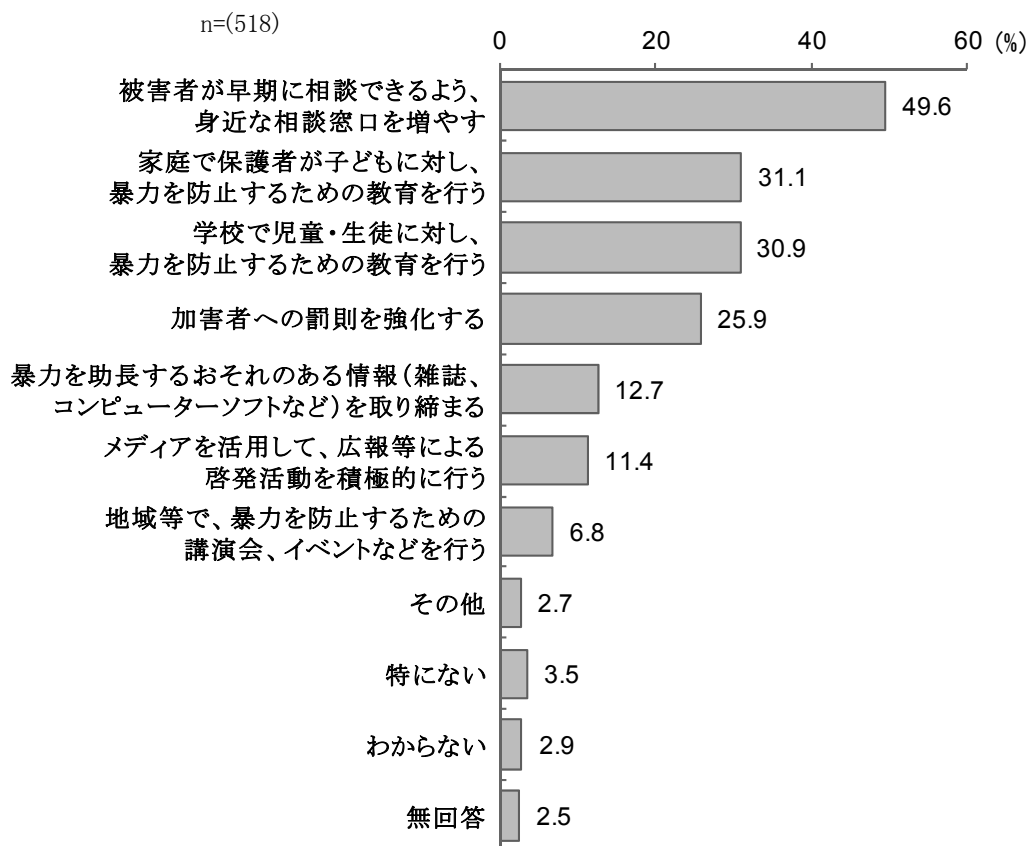
	N	知っている	知らない	無回答
【全体】	518	35.1	61.6	3.3
【性別】				
男	213	29.6	66.7	3.8
女	300	39.0	58.3	2.7
【性・年代別】				
男・20歳未満	3	33.3	66.7	0.0
男・20歳代	13	30.8	69.2	0.0
男・30歳代	24	20.8	79.2	0.0
男・40歳代	40	27.5	70.0	2.5
男・50歳代	29	41.4	55.2	3.4
男・60歳代	51	25.5	66.7	7.8
男・70歳以上	53	32.1	64.2	3.8
女・20歳未満	3	0.0	100.0	0.0
女・20歳代	22	40.9	59.1	0.0
女・30歳代	33	39.4	60.6	0.0
女・40歳代	52	38.5	61.5	0.0
女・50歳代	55	41.8	56.4	1.8
女・60歳代	70	41.4	54.3	4.3
女・70歳以上	65	35.4	58.5	6.2

全体値より ☆ : +20%以上高い、○ : +15~20%高い、□ : +10~15%高い
★ : -20%以上低い、● : -15~20%低い、■ : -10~15%低い

(6) 男女間の暴力を防止するために必要なこと

男女間における暴力を防止するために必要なこととしては、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が49.6%で最も多く、以下、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」(31.1%)、「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」(30.9%)、「加害者への罰則を強化する」(25.9%) がつづいている。

問 17 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。次の中から選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
警察やしかるべき機関が早い段階で介入できるよう法律や条例を整備する	2
暴力とは何かを学ばせる・伝える	2
被害者の心のケア	2
男女平等意識の向上（互いの特徴を尊重する意識）	1
加害者の暴力に対する気づきと更生支援	1
経験者・体験者による講演会	1
行政等が介入しないで解決する	1
その他	5

上位 4 項目について前回調査と比較すると、ほとんど差はみられない。

	【上位4項目】				(%)
	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う	加害者への罰則を強化する	
今回 (H27)	49.6	31.1	30.9	25.9	
前回 (H22)	48.4	34.2	28.7	22.4	

性別にみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」は男性の42.3%に対し、女性では55.0%と多くなっている。

性・年代別にみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」は女性40歳代で71.2%と目立っている。「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」と「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」は男性70歳以上、「加害者への罰則を強化する」は男性50歳代で多くなっている。

		【上位4項目】				(%)
	N	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う	加害者への罰則を強化する	
【全体】	518	49.6	31.1	30.9	25.9	
【性別】						
男	213	42.3	32.4	34.7	25.4	
女	300	55.0	30.3	28.7	25.7	
【性・年代別】						
男・20歳未満	3	○ 66.7	33.3	33.3	★ 0.0	
男・20歳代	13	46.2	30.8	38.5	30.8	
男・30歳代	24	● 33.3	37.5	25.0	33.3	
男・40歳代	40	42.5	● 15.0	27.5	35.0	
男・50歳代	29	● 31.0	31.0	31.0	○ 41.4	
男・60歳代	51	45.1	29.4	33.3	19.6	
男・70歳以上	53	47.2	○ 47.2	○ 47.2	■ 11.3	
女・20歳未満	3	○ 66.7	33.3	33.3	33.3	
女・20歳代	22	54.5	● 13.6	□ 40.9	□ 36.4	
女・30歳代	33	54.5	24.2	33.3	30.3	
女・40歳代	52	☆ 71.2	40.4	■ 17.3	□ 38.5	
女・50歳代	55	50.9	25.5	21.8	21.8	
女・60歳代	70	52.9	35.7	35.7	18.6	
女・70歳以上	65	47.7	29.2	29.2	20.0	

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い